

# 平成30年度 当初予算主要事業要求資料

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ヘルスケア産業創出・育成事業

## 1 事業の趣旨

健康で心豊かな暮らしをサポートする機器、サービス、システム等、経済産業分野におけるすべての事業及び商品を対象分野として、異業種交流や消費者ニーズのフィードバック等を通じて、常に新しい事業の創出や商品開発を目指します。

## 2 事業内容

(1) 試作機器開発補助金

(2) ヘルスケア産業販路拡張補助金【拡充】

(3) 岡山ヘルスケア産業連携協議会

- ・各種セミナー開催等の協議会運営委託【拡充】
- ・モデル事業補助金
- ・ハンズオン支援事業委託
- ・モニター実証支援
- ・健康経営・ワークライフバランス推進事業者表彰制度の実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 33,000 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 12,600 千円
- ・一般財源 20,400 千円

(前年度当初予算額 31,000 千円)

担当課名	産業観光局産業政策課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4513
	直通 086-803-1342

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ものづくり産業振興事業

## 1 事業の趣旨

中小ものづくり企業等の国内・海外における新規取引先の開拓や販路拡大を支援するとともに、地元大学などの教育機関・研究機関や民間企業と連携し、各企業の優れた技術力や製品開発力を活かした付加価値の高い商品の開発や新たなビジネスの創出を目指します。  
また、中四国エリアや岡山都市圏の中核都市として、広域的な地域経済の活性化にも取り組みます。

## 2 事業内容

### (1) 食品製造見本市へ岡山市ブースを設置

グルメ&ダイニングスタイルショー(東京)へ市共同ブースを出展

### (2) 岡山連携中核都市圏食品製造見本市共同出展事業

首都圏で開催される見本市へ岡山連携中核都市圏4市(岡山市、津山市、瀬戸内市、真庭市)で共同ブースを出展

### (3) ビジネスフェア中四国展示会に参画

中四国4市(岡山市、広島市、高知市、浜田市)と同商工会議所が合同で、首都圏からバイヤーを招いての展示会を開催

### (4) 地域産品ブランド力向上支援

専門家による消費者志向の新商品開発や見本市出展など商品ブランド力の向上を支援

## 3 要求額

(1) 歳出額 49,576 千円

### (2) 財源内訳

・その他 5,811 千円

・一般財源 43,765 千円

(前年度当初予算額 39,500 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ものづくり産業海外展開支援事業

新規

## 1 事業の趣旨

国際経済団体であるOIBA、JETRO岡山及び岡山EU協会との連携により、市内中小ものづくり企業等の海外販路開拓や海外進出等の支援を図り、海外に向けた新たなビジネスの推進を目指します。

## 2 事業内容

- (1) 各経済支援団体を通じた中小ものづくり企業等への間接的支援
- (2) フィリピン国企業を招いたビジネスセミナー・ビジネスマッチングの開催

## 3 要求額

- (1) 歳出額 2,894 千円
- (2) 財源内訳
  - ・一般財源 2,894 千円

(前年度当初予算額 1,900 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 中小企業活性化事業・創業支援事業

## 1 事業の趣旨

市内中小企業者が、今日の厳しい環境に対応・発展していくため、各種セミナー等を開催して経営者等の意識改革を行うとともに、創業、設備投資や商工団体への助成、専門家の相談事業、大学シーズと企業ニーズのマッチング事業を行うなど支援を強化し、中小企業の活性化を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 創業支援事業

- ・岡山市版・スタートアップ創業・起業及び中小企業支援事業  
(起業家塾、創業・経営セミナーの開催等)
- ・桃太郎のまち岡山・スタートアップ事業(大学シーズと企業ニーズのマッチング事業)
- ・創業者支援事業補助金(創業に要する経費に対する補助)

### (2) 経営支援事業

- ・企業人材育成セミナーの開催
- ・事業承継や働き方改革等をテーマとしたセミナー・相談会を開催
- ・中小企業支援事業補助金(設備投資に要する経費に対する補助)
- ・商工団体補助事業(岡山県中小企業団体中央会への補助)
- ・中小企業経営診断事業

## 3 要求額

(1) 歳出額 71,133 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 71,133 千円

(前年度当初予算額 61,777 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 企業立地推進事業

## 1 事業の趣旨

従来の工場誘致に加え、企業の本社機能や中四国支店等の広域的営業拠点の立地を進めることにより、ニーズが高い事務系職種の雇用を創出します。新たに民有地へ立地する物流施設を支援対象とすることで、中四国地域における本市の物流拠点性を向上させます。

また、市内本社企業の本社機能の拡充等に加え、市内既存工場等の統合・集約による拠点化及び機能強化への支援を行うことにより、市外への流出を防止します。

## 2 事業内容

### (1) 企業誘致促進事業

- ・製造工場等を立地する企業に対し奨励金を交付
- ・重点分野は補助率を加算

### (2) 都市型サービス産業推進事業

- ・コールセンター等を立地する企業に対し補助金を交付

### (3) 企業誘致ターゲット拡充事業

- ・本社、本社機能（総務、経理、研修、研究開発部門等）、中四国支店等広域的営業拠点等を立地する企業に対し補助金を交付
- ・市内本社企業の本社機能の拡充等に対し人材確保奨励金を交付
- ・重点分野は補助率を加算

### (4) 再投資・拠点強化促進事業

- ・統合・集約による拠点強化及び機能強化を行う市内既存工場等に対し補助金を交付
- ・重点分野は補助率を加算

### (5) 物流施設誘致促進事業【拡充】

- ・物流施設を立地する企業に対し奨励金を交付
- ・公的団地用地だけでなく、民有地へ立地する物流施設を補助対象に追加
- ・建物補助金の補助率拡充及び人材確保奨励金を補助金の種類に追加

## 3 要求額

(1) 歳出額 132,968 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 132,968 千円

(前年度当初予算額 71,900 千円)

担当課名	産業観光局産業政策課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4513
	直通 086-803-1328

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 空港南産業団地整備事業

## 1 事業の趣旨

交通の利便性に優れ災害リスクの低い県南内陸部は、企業からの引き合いが多いため、岡山空港から南へ4kmに位置する未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用し、岡山県と共同で産業団地整備を行い、平成30年度中の分譲開始を目指します。

## 2 事業内容

### (1)実施内容

未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用し、岡山県と共同で産業団地を整備します。

団地名称： 空港南産業団地

開発主体： 岡山市、岡山県

位 置： 岡山市北区富吉地内

事業面積： 約27ha(開発面積 約24ha)

分譲面積： 約10ha(3区画)

概算事業費： 約48.5億円(県:約40.2億円、市:約8.3億円)

(分譲地売却益を除いた実質負担額 県:10.2億円、市:8.3億円)

### (2)開発スケジュール(予定)

造成工事： 平成28～30年度

(平成30年度は道路、下水道及び上水道整備事業を実施)

分譲開始： 平成30年度

## 3 要求額

(1)歳出額 381,587 千円

### (2)財源内訳

・地方債 286,100 千円

・一般財源 95,487 千円

(前年度当初予算額 160,000 千円)

担当課名	産業観光局産業政策課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 4513
	直通 086-803-1328

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 雇用対策等事業

## 1 事業の趣旨

市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。

## 2 事業内容

### (1) 新規学卒者等合同企業説明会開催事業

・主に市内就学の学生等を対象とした市内中小企業等による合同企業説明会を開催

### (2) UIJジョブマッチング事業

・首都圏在住者を含む若年求職者に市内中小企業等における就業体験の機会を提供

### (3) 働き方改革推進・企業情報PR事業

・企業の情報と働き方改革に取り組む企業への取材記事をまとめた冊子の作成

### (4) 人材確保スキルアップ支援事業

・市内中小企業の採用担当者を対象とした、企業の自社PR力向上を目的としたセミナーや、企業を訪問しての個別指導を実施

### (5) 保護者及び学生と地元企業との交流事業

・保護者を対象とした就職セミナーや、学生と地元企業との意見交換会(座談会)を開催

### (6) マザーズハローワーク出張相談開催事業

・おかやまマザーズハローワーク等と共同でふれあいセンター等において就業相談を実施

### (7) 中高生向け合同職場体験イベント開催事業

・市内中小企業等が体験型や実演・展示型のブースを出展するイベントを開催

### (8) 中小企業向け奨学金返還支援制度【新規】

・従業員の奨学金返還支援制度を導入する市内企業に対しての助成

## 3 要求額

(1) 歳出額 29,200 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 5,750 千円

・一般財源 23,450 千円

(前年度当初予算額 25,000 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 西川魅力にぎわい創出事業

## 1 事業の趣旨

西川緑道公園界隈の魅力を高め、中心市街地の賑わいづくりと回遊性の向上を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 西川パフォーマー事業

季節ごとの「花・緑ハーモニーフェスタin西川」の開催と、毎月定期的に行われているパフォーマー事業、西川緑道公園内での街なかの賑わいづくり活動を継続します。

### (2) 西川緑道公園筋歩行者天国

西川緑道公園筋西側市道(平和橋～桶屋橋)の歩行者天国化を市民主体により定期開催し、沿道店舗と連携した賑わいづくりを実施します。

### (3) 街なかのまちづくり事業

岡山大学との地域連携協定に基づく意見交換会・勉強会開催のほか西川緑道公園界隈のまちづくり調査を実施します。また、事業を通じて、まちづくりに関わる人材の育成を行います。

### (4) 西川緑道公園周辺エリアマネジメント推進事業【新規】

現在活用している西川緑道公園に加え、道路部分も含めたエリアマネジメントについて検討を進め、さらなる西川界隈のにぎわい・魅力向上を図ります。

## 3 要求額

(1) 歳出額 39,653 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 39,653 千円

(前年度当初予算額 36,600 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 赤坂 隆
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 歩いて楽しい道路空間整備事業

## 1 事業の趣旨

県庁通りの魅力を高め、賑わいや回遊性を向上させるため、道路空間再編(1車線化)によるハード整備だけではなく、地元や沿道事業者といった民間との官民連携による取り組みにより、民地を含めた一体的な道路空間の活用を目指します。

## 2 事業内容

車中心から人優先のまちづくりのモデル路線となる県庁通りにおいて、地元や沿道事業者の方々と専門家を交えたワークショップなどを行いながら、まちづくりの方向性・まちづくり組織・空間の使い方・ルール作りについて検討を進め、賑わい・回遊性の促進と都市格の向上を目指します。

## 3 要求額

(1)歳出額	11,260 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	11,260 千円
(前年度当初予算額	17,800 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 赤坂 隆
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上  
(路面電車の乗り入れ)

## 1 事業の趣旨

岡山市の喫緊の課題である回遊性の向上、ひいては中心市街地の活性化を目的に、平成26年度より「中心市街地活性化政策パッケージ」の一環として路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ調査・検討を行っています。また、路面電車の乗り入れを契機に、駅前広場全体の再整備についても検討を行っています。

現在は、「利便性(乗換)」、「経済性(事業効果)」に優れる平面乗り入れを行った場合の駅前広場全体のあり方について、地元、周辺商店街、関係者等とともに検討を進めています。また、路面電車の利用環境向上のため、既存施設の補修費用等に対する補助を行います。

## 2 事業内容

- (1) 駅前広場のデザイン検討
- (2) 路面電車乗り入れに伴う中心市街地の人の流動変化分析
- (3) 路面電車の既存施設の補修費用等に対する補助 等

## 3 要求額

- (1) 歳出額 221,625 千円
- (2) 財源内訳
  - ・一般財源 221,625 千円

(前年度当初予算額 34,000 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 商店街等地域商業の活動への支援

## 1 事業の趣旨

商店街等が行う店舗誘致活動、集客イベントをはじめとした来街者の誘導・販売促進のための取り組み(ソフト事業)、また安全・安心で快適な商業空間の創出に向けたアーケードや防犯設備等基盤整備への支援(ハード事業)を通じ、中心市街地の活性化を図ります。また地域商業の活性化に向けた取り組みを支援します。

## 2 事業内容

### (1) 地域商業グループ活動支援事業

・小規模企業者等が実施する地域商業の自主的な活動支援

### (2) 商店街活性化支援事業～商店街やる気のあと押し

・商店街の空き店舗解消、店舗誘致に係る取り組み等を積極支援

### (3) 商店街の空き店舗家主や事業承継を検討する店主向けワンストップ相談会を実施

### (4) 大学生店舗応援事業

・小規模小売店舗支援策に絡めた大学との連携事業を実施

### (5) 商店会連合会との共催による催事及び情報発信を実施

### (6) 各商店街組合等が実施する販売促進事業や調査研究事業等を支援

## 3 要求額

(1) 歳出額 45,976 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 45,976 千円

(前年度当初予算額 55,798 千円)

担当課名	産業観光局産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1323

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市街地再開発事業の促進

## 1 事業の趣旨

近年、市街地再開発事業等、活発な市街地再生の動きにより、人口の都市回帰の動きもみられますが、依然として駐車場等の低・未利用地が多く分散しており、全体として土地の高度利用と都市機能の更新が進んでいません。民間活力をいかしながら、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図る必要があります。

## 2 事業内容

市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対して、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金の交付をします。

対象地区: 中山下一丁目1番地区

表町三丁目10番11番23番24番地区

野田屋町一丁目2番3番地区

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,387,818 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 693,909 千円

・地方債 533,600 千円

・一般財源 160,309 千円

(前年度当初予算額 646,758 千円)

担当課名	都市整備局市街地整備課
担当者名	都市再開発担当課長 柳 徳見
電 話	内線 3651
	直通 086-803-1378

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 農業の担い手確保・経営力向上対策事業

## 1 事業の趣旨

白桃、ぶどう等園芸ブランド農産物の生産振興等のための供給力強化等に資する取組みや農業者と企業との連携を支援することにより、経営力の向上を図ります。また、白桃・ぶどうの新規就農者の確保のため、情報発信の強化、受入農家の確保、新規就農者の確保に対する施策を拡充します。

## 2 事業内容

### (1) 経営の強化

- ・農地中間管理機構を通じた農地集積に対する支援
- ・担い手への農地集積に対する支援
- ・園芸作物の生産性向上のための施設整備・機械導入等に対する助成

### (2) 次世代農業支援事業

- ・農業者と企業等のそれぞれのニーズ・連携意向の情報発信、訪問支援
- ・多様な関係希望者との出会いを図る連携相談会の開催
- ・次世代農業モデル事業補助金による支援

### (3) 担い手の確保

- ・岡山ブランド(白桃・ぶどう)継承事業【新規】
- ・新規就農に係る情報発信の強化
- ・就農相談会、若手農業者体験研修の実施・マッチング、実務研修の開催
- ・Uターンによる園芸農業者に対する初期施設整備支援
- ・就業奨励金及び就農直後の所得確保に対する給付

## 3 要求額

(1) 歳出額 174,392 千円

### (2) 財源内訳

- ・県支出金 93,283 千円
- ・その他 250 千円
- ・一般財源 80,859 千円

(前年度当初予算額 166,500 千円)

担当課名	産業観光局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 農作物被害対策事業

## 1 事業の趣旨

イノシシ等有害鳥獣の出没範囲が広がり、農作物等の被害が拡大していることから、地域ぐるみで野生鳥獣が出没しにくい環境の整備を啓発するとともに、侵入防止柵の整備助成、捕獲柵(檻)の設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する奨励金の交付を行うことで、総合的な対策を図り、野生鳥獣による農作物等の被害の軽減を目指します。

## 2 事業内容

- (1) 農作物鳥獣害防止対策事業費補助金
  - ・侵入防止柵の設置に対する助成
- (2) 有害獣捕獲柵補助金
  - ・捕獲柵(檻)購入に対する助成
- (3) 有害獣捕獲補助金
  - ・イノシシ、シカ等の捕獲に対する助成
- (4) 狩猟による捕獲促進事業費補助金
  - ・狩猟期のイノシシ、シカ等の捕獲に対する助成
- (5) 有害鳥獣捕獲活動奨励補助金
  - ・駆除班の活動に対する助成
- (6) 捕獲活動推進対策補助金
  - ・狩猟免許取得に対する助成
- (7) 鳥獣被害対策実施隊
  - ・鳥獣被害対策実施隊の編成
- (8) その他の事業
  - ・鳥獣害対策講演会の開催ほか

## 3 要求額

- |          |           |
|----------|-----------|
| (1) 歳出額  | 81,907 千円 |
| (2) 財源内訳 |           |
| ・県支出金    | 30,447 千円 |
| ・一般財源    | 51,460 千円 |

(前年度当初予算額 91,000 千円)

担当課名	産業観光局農林水産課
担当者名	課長 丸川 洋一
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地産地消推進事業

## 1 事業の趣旨

地場産農産物の周知や販路の拡大を行い、消費拡大による農業者の所得向上や経営の安定化を推進し、「食」による地域の活性化を図ります。

## 2 事業内容

- (1) 農業体験等を通じて消費者が農業者と交流する地産地消バスツアー
- (2) 地場産農産物の直売所マップの配布による地産地消PR
- (3) 地域地産地消推進モデル事業への補助
- (4) 市内の農業の魅力をPRし、岡山産農産物への関心を高めるとともに、販路拡大につなげる「おかやま秋の収穫祭地産地消マルシェ」の開催
- (5) 米粉料理教室・米粉&乳製品スタンプラリーの開催

## 3 要求額

(1) 歳出額 12,986 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 12,986 千円

(前年度当初予算額 13,000 千円)

担当課名	産業観光局農林水産課
担当者名	都市農村交流担当課長 小坂 正樹
電 話	内線 4541
	直通 086-803-1346



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 おかやま観光情報発信事業

## 1 事業の趣旨

岡山市の魅力や優位性を国内外へプロモーションし、「桃太郎のまち岡山」の知名度及び都市イメージの向上を図るとともに、市内の滞在時間の延長や回遊性の向上のためのしかけづくりを行います。

また、市民自らが地域の歴史・文化に愛着と誇りを持てるよう、岡山を形作った光ある歴史・文化資源を広域に収集し、次の世代に引き継いでいくとともに、テーマやストーリー性を重視しながら歴史・文化資源を磨き、広く国内外に情報発信することにより、新たな観光客誘致を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業

真庭市、吉備中央町との共同によるムスリム観光客の受入体制の整備など

### (2) 外国人観光客誘致事業(インバウンド事業)

観光施設や飲食店との協働によるベース宿泊地としての魅力創出やWi-Fi環境の整備など

### (3) シティプロモーション

「鬼カワイイ」をコンセプトとしたファッションや動画、イベントの展開、吉備路の周遊観光促進

### (4) 圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信事業

あさのあつこ氏執筆の短編集を活用した情報発信

## 3 要求額

(1) 歳出額 133,950 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 17,000 千円

・一般財源 116,950 千円

(前年度当初予算額 120,900 千円)

担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 コンベンション誘致対策事業

## 1 事業の趣旨

年々増加するコンベンションについて、開催支援体制の強化が求められており、地域の経済波及効果だけでなく、都市ブランド力の向上や国際化につながる国際会議の開催誘致活動のため、英語スタッフを常時配置し、国際会議のキーパーソンとの関係強化を図ります。  
また、スポーツ大会の誘致やプロスポーツチームと連携した観光施策を実施します。

## 2 事業内容

- (1) おかやま観光コンベンション協会内英語スタッフの配置による常時受入体制の充実・強化
- (2) おかやまスポーツ・コミッション(仮称)事務局のおかやま観光コンベンション協会内設置に伴う専任スタッフの配置
- (3) 情報収集・情報発信事業(JNTO等からの情報収集、Webサイトによる情報発信等)
- (4) 誘致事業(誘致セールス、セミナー等の開催、視察受入等)
- (5) 開催支援事業(開催補助金の交付、歓迎看板の設置等の支援サービス実施)
- (6) JNTO賛助団体制度の活用(制度を活用した情報収集、招請事業への参加等)

## 3 要求額

(1)歳出額	57,956 千円
(2)財源内訳	
・その他	32,500 千円
・一般財源	25,456 千円
(前年度当初予算額)	42,882 千円)

担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 移住・定住の促進

## 1 事業の趣旨

移住・定住先として全国的に認知度が高まっているこの機を捉え、移住・定住希望者に対してワンストップでの相談・支援が行える取組の充実を図ります。また、県や連携中枢都市圏の市町等と連携・協力し、東京での移住相談会の開催やメディアを活用した移住・定住に関連する情報発信をすることで、圏域への移住・定住を促進します。

## 2 事業内容

- ・市主催による東京での移住相談会の実施
- ・移住下見ツアーの実施
- ・「おかやまぐらし移住の窓口」の活用
- ・移住支援に関する情報発信
- ・お試し住宅の提供(民間賃貸物件)
- ・企業面接に要する交通費補助
- ・県主催の移住相談会へ出展
- ・日常的な相談対応

## 3 要求額

(1)歳出額 44,182 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 4,709 千円
- ・その他 2,040 千円
- ・一般財源 37,433 千円

(前年度当初予算額 44,200 千円)

担当課名	市民協働局市民協働企画総務課
担当者名	移住定住支援担当課長 藤原 亮
電 話	内線 3276
	直通 086-803-1335

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業

新規

## 1 事業の趣旨

中山間・周辺地域においては、人口減少・高齢化により、集落の人口規模の減少、コミュニティ活動の衰退が生じています。そのため、中山間・周辺地域の生活機能の維持、地域産業の振興、コミュニティの活性化が必要となっています。現在の状況下で課題を解決するには、地域主体の取組が不可欠であるため、地域が主体となり自らの地域の課題・解決策を検討・実施していただける体制を構築するための支援を行います。

## 2 事業内容

- ・ 地域活力創出担い手育成塾
- ・ 地域活力創出助成事業

## 3 要求額

(1)歳出額 9,000 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 4,500 千円
- ・一般財源 4,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域の未来づくり推進事業 新規

## 1 事業の趣旨

合併地域などの中山間・周辺地域において、持続可能な地域づくりを目的に、地域内外のNPO法人や企業、地域住民が行う、コミュニティビジネスの創出など様々な地域課題の解決に取り組むための活動等に対し、支援を行う事業を実施します。

## 2 事業内容

地域課題の解決に向けた支援

## 3 要求額

(1)歳出額 50,000 千円

(2)財源内訳

・その他 50,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 土地利用の適正誘導

## 1 事業の趣旨

人口減少下でも住み慣れた地域で暮らし続けられるとともに、持続的に発展できる都市を目指すため、土地利用の適正誘導を通じて、「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」を推進します。

## 2 事業内容

本市の都市計画の基本方針を示す「岡山市都市計画マスタープラン」の見直しを行ったうえで、立地適正化計画の策定作業を進めるとともに、区域区分や地域地区の運用方針や都心の高度利用方針の検討など、具体の施策展開へ向けた調査・検討を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 22,518 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 2,000 千円

・一般財源 20,518 千円

(前年度当初予算額 20,000 千円)

担当課名	都市整備局都市計画課
担当者名	課長 福田 充弘
電 話	内線 3630
	直通 086-803-1371

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山西部総合公園(仮称)整備事業

## 1 事業の趣旨

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について、市民の皆さんが憩い、楽しむ、緑あふれる総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備を行います。

## 2 事業内容

【平成24年度】

- ・「岡山操車場跡地整備基本計画」策定

【平成25年度】

- ・施設配置、規模等の検討を行うための基本設計

【平成26年度】

- ・岡山西部総合公園(仮称)の実施設計及び公園管理棟の基本設計
- ・用地買収

【平成27年度】

- ・岡山西部総合公園(仮称)の本工事及び公園管理棟の実施設計
- ・用地買収

【平成28年度～】

- ・岡山西部総合公園(仮称)の本工事等
- ・用地買収

## 3 要求額

(1)歳出額 1,516,000 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 460,000 千円
- ・地方債 679,200 千円
- ・一般財源 376,800 千円

(前年度当初予算額 1,764,700 千円)

担当課名	都市整備局庭園都市推進課
担当者名	課長 赤坂 隆
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域おこし協力隊事業

## 1 事業の趣旨

本市では将来的に人口減少・高齢化の進行が見込まれており、特に中山間・周辺地域においては、地域活動を中心的に担う人材不足が懸念されています。そこで、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から中山間・周辺地域等へ、地域活動を担う人材を採用し、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。

## 2 事業内容

御津・建部地域その他、中山間地域等(24小学校区)を中心に、導入地域の拡大を進めます。

## 3 要求額

(1)歳出額	40,844 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	40,844 千円
(前年度当初予算額)	31,200 千円)

担当課名	政策局事業政策課	北区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 黒瀬 英昭	課長 河本 文一
電 話	内線 3590	内線 4190
	直通 086-803-1042	直通 086-803-1655



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域公共交通網形成計画策定事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

現在の岡山市は、人口増加と自動車利用を前提とした低密度で分散した都市構造となっているため、中心市街地の活力が低下しており、また、郊外部では路線バスの減便や廃止といった公共交通の衰退により日常生活に必要な移動手段が失われつつあります。

こうした中、第六次総合計画で示された岡山市の将来像の実現に向けて、公共交通を中心とした人と環境にやさしい交通体系の構築を目指して、平成29年度中に新たな総合交通計画を策定する予定です。

その後、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた実行計画として、地域公共交通網形成計画を交通事業者等の関係者と協議しながら策定します。

## 2 事業内容

地域公共交通網形成計画の検討

- ・ 路線バス等の持続可能な公共交通ネットワークの検討

## 3 要求額

(1) 歳出額 4,500 千円

(2) 財源内訳

・ 一般財源 4,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 鉄道の利用環境改善(吉備線LRT化)

## 1 事業の趣旨

鉄道のLRT化、新駅設置、駅前広場整備などにより、鉄道の利用環境を改善することで、自家用車から鉄道への転換を促し、過度なクルマ依存社会から、人や公共交通中心の社会への転換を図ります。

## 2 事業内容

- (1) 内容 吉備線LRT化基本計画案作成  
(2) 実施主体 岡山市・総社市・JR西日本

## 3 要求額

- (1) 歳出額 15,000 千円  
(2) 財源内訳  
・一般財源 15,000 千円  
  
(前年度当初予算額 9,000 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 超小型モビリティの導入可能性検討

## 1 事業の趣旨

超小型モビリティは、低炭素社会の実現に資するとともに、人口減少・高齢化時代に対応するコンパクトなまちづくりに適した交通手段です。超小型モビリティが、岡山市における各種交通課題等の解決に寄与する交通ツールとなり得るかを検証します。

## 2 事業内容

平成28年度、平成29年度の実証実験結果から、超小型モビリティを導入することによる効果、必要性の検証、事業シミュレーションなどにより、必要施策の検討等を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 9,040 千円

(2)財源内訳

・一般財源 9,040 千円

(前年度当初予算額 30,000 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	自転車先進都市推進担当課長 今井 洋孫
電 話	内線 3625
	直通 086-803-1375

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 バリアフリー基本構想の策定事業

新規

## 1 事業の趣旨

高齢者や障害者等の施設利用や施設間の移動における身体の負担を軽減するため、主要駅周辺等の多くの人々が集まる地区においては面的・一体的なバリアフリー化を図る必要があります。このため、地区内の公共交通機関、建築物、公共施設及びそれらを結ぶ経路についてバリアフリー化の推進を目的とする基本構想を策定します。

## 2 事業内容

バリアフリー基本構想の検討

- ・ 主要駅周辺地区等のバリアフリー化実施状況の調査
- ・ 協議会の設置
- ・ 庁内検討会議の設置
- ・ 基本構想素案作成

## 3 要求額

(1) 歳出額 4,500 千円

(2) 財源内訳

・ 一般財源 4,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新たな生活交通の確保

## 1 事業の趣旨

今後、人口減少や高齢化のさらなる進行により、公共交通の利用が不便な地域の拡大が危惧されており、日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっています。

このことから、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みとして、鉄道やバスが利用しづらい地域を対象に、地域住民及び交通事業者と連携してデマンド交通等を導入することにより、日常生活に必要な新たな交通手段を確保します。

## 2 事業内容

○生活交通事業スキームの確立及び生活交通の確保

地域住民主体で地域ごとの特性に応じた生活交通の運行を計画し、試験運行を実施する中で実際のニーズを把握して運行改善を行うことで、生活交通が便利で持続可能なものとなるようにします。

(本格運行) 灘崎地域迫川地区

(試験運行) 瀬戸地域千種地区、津高地域馬屋上・野谷地区、牧石学区牧山地区

(運行計画検討) 上道地域角山地区 他

## 3 要求額

(1) 歳出額 8,312 千円

(2) 財源内訳

・その他 2,000 千円

・一般財源 6,312 千円

(前年度当初予算額 7,600 千円)

担当課名	都市整備局交通政策課
担当者名	課長 平澤 重之
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 自転車先進都市の推進

## 1 事業の趣旨

誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、平成24年8月に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、各種施策を推進していきます。

## 2 事業内容

### (1) 自転車走行空間整備事業

中心部の道路において、路線の状況に応じた整備手法で自転車走行空間の整備、路面の段差解消等を行い、安全で快適な走行空間ネットワークの形成を目指します。

### (2) 自転車駐輪場整備事業

用地確保が困難な中心市街地における駐輪場整備促進策として、駐輪場を整備する事業者に対し引き続き建設費の一部を補助し、民間駐輪場整備の後押しを行います。

### (3) コミュニティサイクル事業

ももちやりを継続運用するとともに、現在のサービス水準を維持するために必要な対策を行います。

### (4) 自転車ルール・マナー関係事業

放置自転車防止啓発指導を継続し、ルールマナー啓発業務を実施します。

### (5) サイクリングロード事業

吉備路自転車道・吉備高原自転車道について、サイクリングを通じて来訪される方に、より利用しやすい環境整備を進めます。

## 3 要求額

(1) 歳出額 299,861 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 35,463 千円

・地方債 24,400 千円

・一般財源 239,998 千円

(前年度当初予算額 357,100 千円)

担当課名	交通政策課	道路港湾管理課	生活安全課
担当者名	担当課長 今井 洋孫	課長 大林 弘明	課長 安部 裕嗣
電 話	内線 3625	内線 3660	内線 3230
	直通 803-1375	直通 803-1415	直通 803-1106

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 道路ネットワークの充実・強化

## 1 事業の趣旨

中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消、交通混雑の緩和に資する外環状道路・中環状道路の整備に引き続き取り組むほか、広域交通の要衝にある本市の優れた立地条件を活かし、中四国をリードする「経済・交流都市」の形成に向けて、企業立地・物流などの経済活動や、観光・コンベンションなどの広域交流を促進できる環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化に重点的に取り組みます。

また、岡山連携中枢都市圏ビジョンの連携施策に位置付けられた事業として、高速道路を活かした人と物の交流促進や、高速道路の利用促進による既存道路の渋滞緩和の効果を検証するため、高速道路料金割引社会実験を予定しています。

## 2 事業内容

### 【外環状道路、中環状道路の整備】

- ・(主)岡山赤穂線(中井～宍甘) 延長3.5km、4種1級、幅員26.0m
- ・(市)藤田浦安南町線 延長1.6km、4種1級、幅員36.0m
- ・(市)江並升田線 延長1.4km、4種1級、幅員26.0～42.0m
- ・(都)下中野平井線(旭川工区) 延長1.1km、4種1級、幅員35.0m

### 【広域交通網の整備】

- ・(主)佐伯長船線(美作岡山道路) 瀬戸IC・JCTの整備
- ・山陽自動車道吉備スマートIC 大型車対応、24時間化に向けた取り組み

### 【高速道路料金割引社会実験】

- ・高速道路を活かした、人と物の交流促進のための料金割引実験
- ・高速道路を活かした、既存の道路ネットワークの課題解決のための料金割引実験

## 3 要求額

(1)歳出額 4,145,241 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 2,070,050 千円
- ・地方債 1,582,600 千円
- ・一般財源 492,591 千円

(前年度当初予算額 3,873,600 千円)

担当課名	都市整備局道路計画課
担当者名	課長 荒木 昭彦
電 話	内線 3640
	直通 086-803-1696

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 北長瀬みずほ住座再生事業

## 1 事業の趣旨

岡山操車場跡地基本計画において、「生活支援ゾーン(市営住宅・社会福祉施設導入区域)」に「高齢者」「子育て」「居住」等の機能を中心に生活支援サービス施設導入の検討を図った結果、同地において近接する老朽化の著しい北長瀬みずほ住座の建替えと子育て支援施設の併設をPFI事業で行います。

## 2 事業内容

### (1) 事業内容

市営住宅(214戸)の建替えを行うとともに、併設施設は、民設・民営で保育施設を整備します。

### (2) スケジュール

平成29年度	整備事業者決定 事業契約の締結 設計等着手
平成30年度	実施設計 公共施設整備 本体工事(建築・電気・機械)
平成32年度末	完工(予定)

## 3 要求額

(1) 歳出額 340,200 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金	118,596 千円
・地方債	118,400 千円
・一般財源	103,204 千円

(前年度当初予算額 1,650 千円)

担当課名	都市整備局住宅課
担当者名	課長 見平 孝行
電 話	内線 4660
	直通 086-803-1466



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 空家等適正管理支援事業

## 1 事業の趣旨

適切な管理が行われていない空家等が防災、防犯、衛生、景観等の市民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることを受け、「空家等対策の推進に関する特別措置法」(以下「法」)及び「岡山市空家等の適切な管理の促進に関する条例」(以下「条例」)に基づき、空家等の利活用や適切な管理を促進させるため、所有者等の自主的な取組みを促進します。

## 2 事業内容

平成29年度の実績を基に、法及び条例と連携して助成します。

- 空家診断助成  
耐震・劣化診断の費用の一部を助成  
対象:特措法上の空家等
- 空家リフォーム助成  
リフォームに係る経費の一部を助成(一般・地域活性化)  
対象:特措法上の空家等
- 空家除却助成  
老朽化した危険な空家等の除却に係る経費の一部を助成(一般・地域活性化)  
対象:特措法上の特定空家等  
※いずれも上限額有  
※いずれの助成も特措法上の措置である勧告を受けた空家等は対象外

## 3 要求額

(1)歳出額	39,078 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	15,039 千円
・県支出金	6,224 千円
・一般財源	17,815 千円
(前年度当初予算額)	50,000 千円)

担当課名	都市整備局建築指導課
担当者名	課長 大月 宏行
電 話	内線 4610
	直通 086-803-1410

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 斎場整備事業

## 1 事業の趣旨

東山斎場の老朽化、将来の火葬需要への対応や災害時等のリスク分散の観点などから、東山斎場の建て替えや北区富吉での新斎場整備に引き続き取り組みます。

## 2 事業内容

### ○東山斎場再整備事業

既存の火葬炉を稼働させながら再整備を行うことから、責任の一元化と工事期間短縮を図るため、平成26年度に設計施工一括発注(デザイン&ビルド)方式により事業者と請負契約を締結しています。

平成29年度は、新火葬棟の建築工事に着手しており、平成30年度の供用開始を目指しています。斎場の本体工事が完了した後、既設建物及び火葬炉の解体を行います。

### ○新斎場整備事業

北区富吉の新斎場整備は、平成29年度に都市計画決定と県知事から事業の認可を受け、整備事業者の募集、選定を行います。

あわせて平成34年度からの新斎場の稼働に向けて、運営について調査、検討を進めていきます。

## 3 要求額

(1)歳出額 2,048,061 千円

### (2)財源内訳

・地方債 1,758,500 千円

・一般財源 289,561 千円

(前年度当初予算額 2,171,437 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課
担当者名	課長 安部 裕嗣
電 話	内線 3230
	直通 086-803-1277

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 芸術文化まちづくり推進事業

## 1 事業の趣旨

岡山城・後楽園を中心とした歴史文化ゾーンにおける民間との協働による新たな魅力づくり、岡山市の新たな都市ブランドの構築及び若年層のまちづくり参加の促進等を目的に、世界からも注目を集めるハイレベルな現代アート(コンテンポラリーアート)展を開催するとともに、地域に根差した活動とするため、継続的にパブリックプログラムを実施します。

## 2 事業内容

岡山芸術交流2019の平成31年秋季(9月下旬～11月下旬)開催に向けて次の事業を行います。

### ○実施計画の策定

テーマ、コンセプト、会期、会場、参加作家名、展示作品数、事業構成、サポートスタッフ、スケジュールなどを盛り込んだ実施計画の策定

### ○計画に基づく開催準備

- ・広報(ウェブ、チラシ、ポスター等)
- ・サポートスタッフ募集、育成

### ○プレイベント・パブリックプログラムの実施

- ・プレイベント
- ・パブリックプログラム・ラーニングプログラム

参加アーティストや、有識者によるシンポジウム・レクチャー、サポートスタッフの育成カリキュラムの実施

## 3 要求額

(1)歳出額 26,402 千円

(2)財源内訳

・一般財源 26,402 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 都心創生まちづくり事業

## 1 事業の趣旨

岡山城主要部の市有地である旧NHK岡山放送会館跡地、市民会館(移転後)跡地、旧内山下小学校跡地について、導入機能なども議論しながら、平成33年度中を目途に整備構想や整備計画の策定を行います。

## 2 事業内容

岡山城主要部の市有地である旧NHK岡山放送会館跡地、市民会館(移転後)跡地、旧内山下小学校跡地について、跡地に考えられる導入機能等に関する基礎的な調査を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額	7,000 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	7,000 千円
(前年度当初予算額)	5,380 千円)

担当課名	政策局事業政策課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山城の魅力アップ

## 1 事業の趣旨

再建50周年を迎えた岡山城天守閣等について、平成29年度に行った実証実験事業の評価を踏まえ、今後本格的な活用を行っていくための魅力アップを図るとともに、岡山後楽園等周辺施設との連携をさらに強化していきます。

## 2 事業内容

### (1) 岡山城の新たな活用による魅力アップ事業

#### ・歴史体験ゾーン

関ヶ原の合戦を中心とする宇喜多秀家の生涯を常設展示化

#### ・おもてなしゾーン

岡山城で後楽園でのくつろぎを感じ、コンベンション等のレセプション会場としても利用できる空間を創出

#### ・市民県民の利活用

ワークショップ、歴史講座等開催

#### ・バリアフリー化

エレベーター(外付け)、屋外階段の夜間照明の設置検討

#### ・耐震補強に伴う内装改修の検討

### (2) 岡山後楽園・岡山城等連携

## 3 要求額

(1) 歳出額 102,625 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 102,625 千円

(前年度当初予算額 99,700 千円)

担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 史跡保存整備事業

## 1 事業の趣旨

国指定史跡を恒久的に保存し、活用します。地下に埋没している遺構を復元、あるいは表示し、さらに経年劣化によって傷ついた石垣などを修理して、史跡を訪れた市民や観光客がその文化的価値を享受できる環境を整備します。

## 2 事業内容

### (1) 史跡岡山城跡保存整備事業

平成4年度に市が所有している内堀を含む本丸跡を対象に「史跡岡山城跡保存管理計画」を策定し、本丸中の段発掘調査を手始めに保存整備事業に着手しています。

### (2) 史跡造山古墳群保存整備事業

造山古墳の陪塚である千足古墳(造山第5古墳)の保存整備を進めるとともに、造山古墳の法面整備を行います。

### (3) 史跡大廻小廻山城跡整備事業

東区草ヶ部にある国指定史跡である「大廻小廻山城跡」の整備事業。平成17年に国指定を受け、城跡の土地公有化を進めています。

### (4) 史跡東大寺瓦窯跡整備事業

東区万富にある国指定史跡「東大寺瓦窯跡」の整備事業。土地公有化を開始します。

## 3 要求額

(1) 歳出額 229,807 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 130,501 千円  
・一般財源 99,306 千円

(前年度当初予算額 211,450 千円)

担当課名	教育委員会事務局文化財課
担当者名	課長 乗岡 実
電 話	内線 3875
	直通 086-803-1611

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業

## 1 事業の趣旨

歴史・文化資産の由来等を顕し、市民、来訪者が歴史・文化に親しみ、楽しむ環境づくりを進めるとともに、各地域に埋もれている歴史・文化資産に光を当て、地域の魅力として未来に向けて継承、発展させます。

## 2 事業内容

○地域の団体からの提案による「岡山歴史のまちしるべ」の設置

地域に点在する歴史文化資源を、地域からの提案により市で設置し、新たな歴史資源の掘り起しや歴史看板を活用した取り組みにつなげて行きます。

○総合案内板及びまちの成り立ちに関連する資源説明看板の設置

建部、金川、藤井地区

## 3 要求額

(1)歳出額 17,534 千円

(2)財源内訳

・一般財源 17,534 千円

(前年度当初予算額 17,500 千円)

担当課名	政策局事業政策課	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 黒瀬 英昭	課長 芳原 保
電 話	内線 3590	内線 4530
	直通 086-803-1042	直通 086-803-1332

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新しい文化芸術施設の整備

## 1 事業の趣旨

岡山市民会館及び岡山市民文化ホールは、築後数十年が経過し、建物設備の老朽化、バリアフリー化未対応、耐震化の未実施などの課題を抱えています。両施設とも、市民にとって必要不可欠な施設であることから、現在、将来に亘って市民のニーズに応えることのできる新しい文化芸術施設の整備に向けた検討を進めています。

新しい文化芸術施設の整備により、本市の文化力の向上を図るとともに、中心市街地の活性化、回遊性の向上など、まちの魅力アップや新たな賑わい創出につなげます。

## 2 事業内容

民間再開発事業であるため、市が策定した新しい文化芸術施設整備基本計画の内容に則した再開発事業計画・施設計画とするための協議を進めていきます。再開発事業計画のうち、新しい文化芸術施設について、協力して設計を行います。

ソフト事業について、今年度末策定の新しい文化芸術施設管理運営基本計画を基に、シンポジウムやワークショップなどを開催し、様々な意見を参考にしながら、より具体化した管理運営実施計画を策定します。

## 3 要求額

(1)歳出額 16,780 千円

(2)財源内訳

・一般財源 16,780 千円

(前年度当初予算額 14,000 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援

## 1 事業の趣旨

岡山シンフォニーホールを拠点とする岡山フィルハーモニック管弦楽団は、プロの演奏家で編成された楽団として、定期演奏会やスクールコンサート等により大人から子どもまでクラシック音楽の鑑賞機会を提供し、岡山県内の音楽文化の振興に寄与してきました。

今後さらに、地域での音楽文化を創り、楽団独自の音楽スタイルを確立することで、都市ブランドの向上と魅力を発信していきます。

## 2 事業内容

首席コンサートマスターの配置、首席奏者の固定化を図り、首席指揮者のシェレンベルガー氏とともに、岡山唯一のプロの楽団として、楽団独自の音楽スタイルを確立し、都市ブランドの向上と魅力発信を図ります。

幼いころからプロの演奏に触れる機会を積極的に提供する楽団となり、楽団員の顔が見えることにより鑑賞者を増やし、市民が楽団員に親しみをもち、市民が支える楽団に育てていきます。

経済的支援と発信力を高めるために、広報・宣伝、営業に力を入れ、楽団の活動をアピールしていきます。

## 3 要求額

(1)歳出額 36,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 36,000 千円

(前年度当初予算額 26,000 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 文化芸術に親しむ事業(文化振興推進プロジェクト)

## 1 事業の趣旨

岡山市文化芸術振興ビジョンの推進にあたり、市民が文化芸術に親しむ機会を充実させ、文化の担い手育成を図っていくため、本市の各文化事業に関する調査・研究・検討を行います。

## 2 事業内容

文化芸術団体や学校との連携による文化事業の企画・実施、及び本市の文化振興・地域資源に関する調査・研究等を行う体制を構築します。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に、本市の文化事業の発信力を高めるための事業を検討・実施します。

## 3 要求額

(1)歳出額	9,100 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	9,100 千円
(前年度当初予算額)	7,500 千円)

担当課名	市民生活局文化振興課
担当者名	課長 佐藤 隆司
電 話	内線 3740
	直通 086-803-1054

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 トップチーム支援事業

## 1 事業の趣旨

岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ)は、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となることに鑑み、その存在がより幅広く市民に浸透していくよう、トップチームへの支援を実施します。

## 2 事業内容

- 「ファジアーノ岡山」と「岡山シーガルズ」をPRする「ご当地ナンバープレート」を作成します。【新規】
- ホームゲームのうち、年に1ゲームを「岡山市民デー」とし、各種イベントを実施します。
- 「市民デー」開催にあたり、岡山市への転入者を対象とした特別招待枠を設定し、招待することで、岡山市への愛着心を育み、ファン層を拡大します。
- トップチームの選手が、市内の小学生と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施し、「食べること」「動くこと」の大切さを啓発します。
- 日本三名園のある地元自治体をホームタウンとするチームの対戦ゲームにおいて、「アラウンド・ザ・日本三名園」と銘打ち、三都市が連携して各種PRを実施します。
- 岡山シーガルズが、ホームゲーム開催時、選手のユニフォームに「岡山市」のロゴを入れて出場します。
- 連携中枢都市圏事業の一環として、トップチームの岡山市内で開催されるホームゲームにおいて、連携市町から応援バスを運行し、連携してトップチームの応援機運を高めます。

## 3 要求額

(1)歳出額 11,957 千円

(2)財源内訳

・一般財源 11,957 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 池田 経二
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 東京オリンピック・パラリンピック等の推進

## 1 事業の趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、全国各地で事前に行われるキャンプ等を誘致することにより、岡山市のスポーツ振興、シティプロモーション、交流人口の拡大を目指します。

また、ブルガリア共和国を相手国としたホストタウンとして、交流計画に基づく事業を展開し、スポーツの振興、文化教育の向上及び共生社会の実現を図ります。

## 2 事業内容

### ○キャンプ誘致活動の推進

岡山県と連携した補助制度の創設を行い、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致活動を進めます。

主な内容：ナショナルチーム等キャンプ誘致推進事業補助金

オリンピック・パラリンピック競技のナショナルチーム等が行うキャンプ(市内施設・宿泊施設利用)に対し、国内交通費・宿泊費等を補助

### ○ホストタウン事業の展開

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、岡山市がブルガリア共和国を相手国としてホストタウン計画に基づく交流事業を展開し、スポーツの振興、文化教育の向上及び共生社会の実現を図ります。

ブルガリア共和国にゆかりのある人や日本人オリンピック・パラリンピアン等を招聘します。

## 3 要求額

(1)歳出額 19,941 千円

(2)財源内訳

・一般財源 19,941 千円

(前年度当初予算額 16,500 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 池田 経二
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 スポーツ施設の計画的な整備・長寿命化

## 1 事業の趣旨

「岡山市スポーツ施設整備方針」に基づき、改修等により大規模な大会の開催や多種目のスポーツ利用が可能になるものについて検討及び整備を行います。

また、各施設の利用者や指定管理者からの意見を踏まえて緊急度を精査し、危険度の高い老朽化施設について修繕を行います。

## 2 事業内容(主なもの)

- 瀬戸町運動公園野球場修繕
- 当新田サッカー場夜間照明修繕
- 西大寺武道館剣道場床修繕
- B&G海洋センター耐震化等工事 等

## 3 要求額

(1)歳出額 190,734 千円

### (2)財源内訳

・地方債 57,200 千円

・その他 22,000 千円

・一般財源 111,534 千円

(前年度当初予算額 305,100 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ振興課
担当者名	課長 池田 経二
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1616

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 私立保育所の施設整備

## 1 事業の趣旨

私立保育所等の新設整備等を実施する事業者に対し、施設整備の補助金を交付します。

## 2 事業内容

子どもを安心して育てることができる体制を整備するため、保育所の施設整備に要する経費に対し、私立保育所緊急整備事業等補助金を交付します。

### ○整備施設数等

私立保育所 7ヶ所（新設）

私立認定こども園 1ヶ所（新設）

### ○保育定員増数

820人分

## 3 要求額

(1)歳出額 1,422,503 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 1,237,590 千円

・地方債 166,400 千円

・一般財源 18,513 千円

(前年度当初予算額 945,300 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進

## 1 事業の趣旨

幼稚園と保育所を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。

## 2 事業内容

教育・保育提供区域ごとに、公としての役割(セーフティネット、地域との連携)を担う施設を定め、「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」(平成24年12月策定)を基本に、幼保一体化の推進、施設配置の最適化及び未入園児童の縮減に取り組みます。

○平成30年度認定こども園整備対象園

伊島認定こども園(仮称) 他7園

○市立施設の民営化に伴う施設整備に対する補助対象園

弘西こども園(仮称)

## 3 要求額

(1)歳出額 2,377,861 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 69,532 千円

・地方債 1,954,300 千円

・一般財源 354,029 千円

(前年度当初予算額 1,220,800 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 緊急的な一時預かり事業

## 1 事業の趣旨

認可保育所等への入所が決まるまでの間、公立幼稚園等の余裕教室を活用して一時預かり事業を実施します。

## 2 事業内容

### (1) 緊急的な一時預かり事業を実施する園

公立幼稚園 6園:今、妹尾、陵南、三門、幡多、旭操(各園定員20人)

私立幼稚園等 2園(合計定員37人)

### (2) 対象児童

認可保育所等への入園申込みを行い、利用調整の結果、利用できる保育施設等がない場合に、保護者が利用を希望する児童

### (3) 対象年齢

1歳6ヵ月以上(利用開始月の初日現在)で離乳食を終了している児童

私立幼稚園については、各施設ごとに定めます。

### (4) 開設日、開設時間

8月13日～15日、12月29日～1月3日及び祝日を除く月曜日から金曜日の8時から18時

私立幼稚園については、各施設ごとに定めます。

## 3 要求額

(1) 歳出額 209,384 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 61,266 千円

・県支出金 61,266 千円

・その他 64,800 千円

・一般財源 22,052 千円

(前年度当初予算額 130,064 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども園推進課
担当者名	課長 花房 明彦
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 子育て環境の整備(保育関係)

## 1 事業の趣旨

待機児童解消のための施策の柱である「保育士の確保」に一層努めるとともに、保育を必要とする子どもたちのための施策に取り組みます。

## 2 事業内容

### (1) 保育士の確保対策

- 保育士・保育所支援センター

潜在保育士の掘り起しと就労支援により保育士の人材確保を推進します。

- 民間保育士等処遇改善事業

岡山市独自の取組として、保育士等の処遇改善を図るための補助金を交付します。

- 保育支援者配置助成事業

保育士の業務負担軽減のため、保育支援者の配置を促進します。

### (2) 保育を必要とする子どものための施策

- 登録保育施設運営費助成事業

登録保育施設への施設の維持管理及び児童の処遇向上を目的とした補助金を交付し、保育環境の充実を促進します。

- 緊急入所対策事業

私立保育所及び私立認定こども園での1・2歳児の受入拡大のため、補助金を交付します。

## 3 要求額

(1) 歳出額 337,949 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 35,700 千円  
・県支出金 36,550 千円  
・一般財源 265,699 千円

(前年度当初予算額 246,734 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育課
担当者名	課長 疋田 洋一
電 話	内線 4710
	直通 086-803-1228

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 障害児保育運営費助成事業

## 1 事業の趣旨

保護者の労働もしくは疾病その他の事由により家庭での保育が困難で、かつ、心身に障害を有する児童に障害の特性に応じた保育を行うことにより、障害児の福祉の増進を図ります。

## 2 事業内容

障害児を受入れている私立保育園及び私立認定こども園に補助金を交付し、障害児の受入れを促進します。

## 3 要求額

(1)歳出額 149,371 千円

(2)財源内訳

・一般財源 149,371 千円

(前年度当初予算額 138,800 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育課
担当者名	課長 疋田 洋一
電 話	内線 4710
	直通 086-803-1228

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 放課後児童健全育成事業

## 1 事業の趣旨

保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。

## 2 事業内容

- 児童クラブでの事業の円滑な運営を図るとともに、必要な施設の整備を図ります。
- 開所延長、長期休暇中の受入推進、送迎支援や障害児受入推進等の「質の改善」を進め、女性の社会進出、児童の健全育成、障害児の支援を図ります。  
また、常勤職員の配置や賃金改善に要する費用への補助を行い、安定的な人員確保を推進します。
- 児童クラブの「量の確保」を推進し、希望する全ての児童の受入、放課後児童の安全・安心な居場所づくりを促進します。

## 3 要求額

(1)歳出額 2,171,903 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 837,217 千円
- ・県支出金 565,275 千円
- ・地方債 150,600 千円
- ・その他 589 千円
- ・一般財源 618,222 千円

(前年度当初予算額 1,549,121 千円)

担当課名	岡山っ子育成局地域子育て支援課
担当者名	課長 村松 弥生
電 話	内線 4761
	直通 086-803-1589

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 子どもの貧困対策推進事業

## 1 事業の趣旨

子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図ります。

## 2 事業内容

岡山市子どもの貧困対策推進方針に基づき、子どもの貧困対策事業を実施します。

○方針1「早期に、確実に、支援につなぐ」

・児童家庭支援センター

困難をためらわずに相談できるよう、休日夜間対応可能な民間の相談窓口を開設

・子どもの貧困対策研修事業

困難に早期に気づき必要な支援につなげることができるよう、支援者に対する研修を実施

○方針2「直面する困難を解決する」

・ひとり親家庭就業支援事業

ひとり親家庭と企業のニーズを把握し、今後の就業支援のあり方について検討

○方針3「困難を連鎖させない」

・子どもの居場所づくりサポート事業

子どもの居場所に関する情報発信や運営の支援

・ひとり親家庭学習支援事業

ひとり親家庭の中学生を対象とした学習支援に加え、高校生世代への相談支援を実施

・退所児童アフターケア事業

児童養護施設等を退所した子どもの社会的自立の支援を推進

## 3 要求額

(1)歳出額 48,330 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 20,349 千円

・一般財源 27,981 千円

(前年度当初予算額 14,486 千円)

担当課名	岡山っ子育成局こども福祉課
担当者名	課長 出原 晋一郎
電 話	内線 4781
	直通 086-803-1221

## 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新入学準備費支給事業 新規

### 1 事業の趣旨

就学援助の新入学学用品の支給時期を、入学前に改めます。

### 2 事業内容

経済的な理由で就学困難な児童・生徒の保護者に対して、新入学時のランドセル代や制服代などの準備費用を支給します。

### 3 要求額

(1)歳出額 76,904 千円

(2)財源内訳

・一般財源 76,904 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	教育委員会事務局就学課
担当者名	課長 力竹 孝典
電 話	内線 3880
	直通 086-803-1587

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 女性が輝くまちづくり事業

## 1 事業の趣旨

女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

## 2 事業内容

### (1) 女性の活躍を進める情報発信事業

・企業向けシンポジウムの開催とシンポジウム内容の新聞掲載

### (2) 市内企業で働く女性活躍プログラム

・管理的立場で活躍することへの意識付けとスキルを学ぶ講座

### (3) 女性の再就職支援事業

・働きたい女性の再就職促進のための支援講座

### (4) ワーク・ライフ・バランス啓発及び企業紹介事業

・経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性やメリットとともに市内企業の優れた取組事例をパンフレットで一体的に情報発信

### (5) 男性管理職セミナー開催事業

・男性管理職等を対象とした企業におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍の意義や効果を学ぶ講座

### (6) 大学生のためのキャリア形成応援事業

・大学生を対象としたワーク・ライフ・バランスに対する意識形成を支援するための出前講座

### (7) 女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関する調査

・女性活躍やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方改革の現状と課題を把握するための調査

## 3 要求額

(1) 歳出額 16,206 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 16,206 千円

(前年度当初予算額 15,000 千円)

担当課名	市民協働局女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 逢澤 正男
電 話	内線 3735
	直通 086-803-1115

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 性の多様性の理解促進 新規

## 1 事業の趣旨

性的マイノリティの方の人権など、新たな課題へ対応するため、岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例(さんかく条例)の改正に向けた議論を行うなど、性の多様性の理解促進に向けた取組を行います。

## 2 事業内容

市民や関係団体とのワークショップを開催するなど、市民協働による性の多様性の理解促進を行うとともに、性的マイノリティの方の人権などの新たな課題に対応するために必要な検討を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額	728 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	728 千円
(前年度当初予算額	— 千円)

担当課名	市民協働局女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 逢澤 正男
電 話	内線 3735
	直通 086-803-1115

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 大学生まちづくりチャレンジ事業

## 1 事業の趣旨

人口に対する大学生の比率が高い岡山市の強みを生かして、大学生が企業や地域、NPO等と協働して取り組む地域における活動を支援することを通じて、若者ならではの柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決等を目指すとともに、地域づくりを担う人材育成と若者の地域への定着を図ります。

## 2 事業内容

大学生による地域課題の解決等に向けて、大学生のグループからアイデアを募集し、地域の関係団体や企業等とのマッチングを図った上で、これらの団体と協働して行う地域における活動に係る費用を助成します。

○対象大学の拡大

H29:市内大学(大学9+短期大学3)

⇒H30:市内大学及び、連携協定を締結(予定含む)している市外大学(大学12+短期大学4)

## 3 要求額

(1)歳出額 3,796 千円

(2)財源内訳

・一般財源 3,796 千円

(前年度当初予算額 3,000 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	地方創生・政策調整担当課長 折口 範昭
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1043



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 妊産婦相談支援事業

## 1 事業の趣旨

保健センターにおかやま産前産後相談ステーションを設置し、全ての妊婦を対象とした妊娠期から出産・育児まで切れ目のない支援を行います。

## 2 事業内容

- 各保健センターにおかやま産前産後相談ステーションの機能を持たせ、助産師等の専門職による相談支援体制(相談受付、電話・訪問による支援)を強化します。
- おかやま産前産後相談ステーションでの妊娠届出時に専門職が面談を行い、妊婦等が有する様々な課題やニーズに対応した個別の支援プランを作成し、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。
- 平成31年度に、市内37か所ある妊娠届受付窓口の集約を行い、妊娠届出時に妊婦全員と専門職が面談を行う体制を整備します。

## 3 要求額

(1)歳出額 53,070 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 17,690 千円
- ・県支出金 17,690 千円
- ・一般財源 17,690 千円

(前年度当初予算額 12,586 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学力向上推進プロジェクト

## 1 事業の趣旨

学力調査等の結果を活用し、教育委員会・学校・児童生徒それぞれがPDCAサイクルを構築し、教育改善や学習改善を図ることにより、学力の向上を目指します。

## 2 事業内容

### (1) 岡山市学力アセス

学力アセスの結果分析をもとに、教員の授業改善や児童生徒の学習改善を図ります。

### (2) 「学力・学習状況調査」の活用

結果分析をもとに、よりよい授業づくりを推進し、家庭学習の取組の充実を図ります。

### (3) 学力向上に向けた授業研究支援(子どもが輝く学びづくりプロジェクト)

中学校区の児童生徒の学力状況を把握した上で、公開授業を伴う研究会を実施します。

### (4) 授業これだけは！

授業における「めあて」「まとめ」「表現活動」の徹底・充実を図ります。

### (5) 指導教諭の活躍

他教員の授業づくりを支援します。

### (6) 学力向上プロジェクト

授業づくりの学習会を開催し、若手教員の指導力向上を図ります。

### (7) 補充学習の支援

市立全中学校に自主学習ソフトを導入し、生徒の自主学習の充実を図ります。

## 3 要求額

(1) 歳出額 40,995 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 40,995 千円

(前年度当初予算額 39,970 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 岡林 敏隆
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1590

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 英語教育推進事業

## 1 事業の趣旨

岡山市の子どもたちに多文化理解を促すことと、現在世界で広く使われている英語を聞き、話す力を伸ばすことで地方のグローバル化に対応し、地方と世界をつなぐ人材の育成を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 教員の指導力・英語力向上のための取組

- ・英語教育推進リーダー中央研修への派遣
- ・文部科学省教科調査官等を招聘しての説明会及び公開授業の実施
- ・校内研修への講師派遣支援事業

### (2) 指導方法、教材開発の研究

- ・英語教育推進リーダー、指導教諭等による授業実践及び研究協議会の実施
- ・英語教育推進指定校事業
- ・地域教材開発プロジェクト

### (3) 教育環境の充実

小学校の外国語活動や中学校の英語の授業に外国語指導助手を派遣

### (4) 外部からの意見聴取

英語教育検討会議を実施

### (5) 民間検定試験を活用した英語力向上事業【拡充】

市立全中学校3年生対象に「読む・聞く・書く・話す」の4技能向上を図る民間検定を実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 168,301 千円

### (2) 財源内訳

・その他 308 千円

・一般財源 167,993 千円

(前年度当初予算額 163,000 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	課長 岡林 敏隆
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1590

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学校支援ボランティア事業

## 1 事業の趣旨

学校園や地域での教育活動や環境整備などの取組に対して、学生や保護者、地域住民の様々な特技や趣味などを活かして支援します。

大学等とも連携し、学生ボランティアでグループをつくり、学力向上や問題行動等の防止に向けた取組を組織的に行います。

## 2 事業内容

- 学生ボランティアの交通費補助
- モデル事業の実施(学生グループによる放課後・土曜日等の学習会の試行)
- ボランティア研修会の開催
- 学生シンポジウムの開催
- 学校支援ボランティア連絡協議会の開催 等

## 3 要求額

(1)歳出額 9,555 千円

(2)財源内訳

・一般財源 9,555 千円

(前年度当初予算額 12,500 千円)

担当課名	教育委員会事務局生涯学習課
担当者名	課長 近藤 康彦
電 話	内線 3860
	直通 086-803-1606

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 全国中学校体育大会開催事業 新規

## 1 事業の趣旨

平成30年度全国中学校体育大会を開催します。

## 2 事業内容

### (1) 内容

岡山市を会場とする種目

陸上競技 : 第45回全日本中学校陸上競技選手権大会

剣道 : 第48回全国中学校剣道大会

### (2) 期間

陸上競技 : 平成30年8月18日～8月21日

剣道 : 平成30年8月22日～8月24日

## 3 要求額

(1) 歳出額 11,500 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 11,500 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	教育委員会事務局保健体育課
担当者名	課長 山田 裕史
電 話	内線 3851
	直通 086-803-1594

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 教育支援アドバイザー配置事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

学校教育または、青少年健全育成の経験を有する教育支援アドバイザーを小学校に配置し、問題行動等の未然防止に参画するとともに、取組が効果的に行われるための学校の生徒指導体制・特別支援教育体制づくりに対して助言します。

## 2 事業内容

・学校において管理職、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター等の経験を有する者や、少年の健全育成等に知識や経験を有する者を学校支援アドバイザーとして小学校に配置します。

・教育支援アドバイザーは、問題行動等の未然防止に参画するとともに、教職員と連携して学校の生徒指導及び特別支援教育等の指導体制づくりを行います。

・具体的な業務内容としては、生徒指導・特別支援教育等に関する校内の支援会議や研修での指導や助言、学校教育活動、家庭、地域、関係機関等の連携に関する支援等を行います。

・問題行動や特別支援教育に関する研究をしている大学教員や弁護士等の専門家を講師に招き、スキルアップのための研修を実施します。

## 3 要求額

(1)歳出額 10,233 千円

(2)財源内訳

・一般財源 10,233 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	教育支援担当課長 服部 道明
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 適応指導教室整備事業

## 1 事業の趣旨

岡山市在住の不登校及びその傾向のある子どもを対象に、学校復帰及び進路保障、そして自立に向けて、様々な体験活動や学習支援等の適応指導を行います。

## 2 事業内容

不登校児童生徒の居場所としての環境を整備し、個に応じた支援体制を構築することで、自立に向けて支援します。そのために、各適応指導教室に指導員、相談員等を配置します。

平成30年度より、トラングルー宮、ラポート牧山、あおぞら操山、すまいる瀬戸に加え、南部適応指導教室を中央卸売市場に暫定的に設置し、5室の体制で、不登校児童生徒への適応指導や教育相談等の充実を図ります。

また、職員の資質向上に向けて、定期的に職員研修を行い、指導や支援に関する知識や理解を深めます。

さらに、リーフレットや活動の記録(あゆみ)を作成し、学校や関係機関等に配布し、適応指導教室の機能や活動内容等の周知を図ります。

## 3 要求額

(1)歳出額 84,125 千円

### (2)財源内訳

・その他 773 千円

・一般財源 83,352 千円

(前年度当初予算額 67,742 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課
担当者名	教育支援担当課長 服部 道明
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学校業務アシスト事業

## 1 事業の趣旨

小・中学校に岡山市独自で教職員を補助する事務処理員を配置し、教職員の事務負担を軽減させ、児童生徒と向き合える時間を捻出することで、教育環境の向上を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 概要

教職員が行っている事務処理の一部を軽減するための人員を配置することで、教職員の児童生徒と向き合う時間を捻出し、問題行動の減少や学力向上を推進します。

### (2) 配置

・岡山市立の全小・中学校を対象

## 3 要求額

(1) 歳出額 68,872 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 22,915 千円

・一般財源 45,957 千円

(前年度当初予算額 69,000 千円)

担当課名	教育委員会事務局教職員課
担当者名	課長 奥橋 健介
電 話	内線 3830
	直通 086-803-1586



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 部活動指導員配置事業

## 1 事業の趣旨

市立中学校及び同高等学校に部活動指導員を配置することで、部活動における顧問教員の負担を軽減するとともに、開かれた学校づくりを推進します。

## 2 事業内容

### (1) 概要

部活動の専門的技術指導を行う部活動指導員を配置します。

### (2) 期間

4月～3月

## 3 要求額

(1) 歳出額 25,060 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 8,328 千円

・一般財源 16,732 千円

(前年度当初予算額 16,875 千円)

担当課名	教育委員会事務局保健体育課
担当者名	課長 山田 裕史
電 話	内線 3851
	直通 086-803-1594

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 高島小学校校舎増築事業

## 1 事業の趣旨

児童数が急増し、プレハブ教室で対応していた高島小学校において、今後も児童数の増加が予想されるため、校舎を増築し、教育環境の改善を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 工事内容

- ・校舎増築工事(構造:鉄骨造3階建、延床面積:2,937㎡)
- ・既存棟改修工事
- ・渡り廊下工事 ほか

### (2) 完了予定

平成31年3月

## 3 要求額

(1) 歳出額 658,994 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 236,648 千円
- ・地方債 272,700 千円
- ・一般財源 149,646 千円

(前年度当初予算額 607,800 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校施設課
担当者名	課長 齋藤 和美
電 話	内線 3807
	直通 086-803-1576

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学校空調設備整備事業

## 1 事業の趣旨

近年の異常高温に伴う学習活動への影響や、子どもの健康面への配慮から、普通教室に空調設備を整備し、授業に集中できる教育環境を整え、学力の向上や問題行動等の防止・解決につなげます。

## 2 事業内容

### (1) 内容

市内全中学校の普通教室へ空調設備を整備します。

### (2) 整備計画

平成30年度に実施設計、平成31年度以降に設置工事を行います。

## 3 要求額

(1) 歳出額 47,100 千円

### (2) 財源内訳

・地方債 35,300 千円

・一般財源 11,800 千円

(前年度当初予算額 3,000 千円)

担当課名	教育委員会事務局教育企画総務課	教育委員会事務局学校施設課
担当者名	課長 村田 守	課長 齋藤 和美
電 話	内線 3810	内線 3807
	直通 086-803-1571	直通 086-803-1576

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 インターネット予約図書モデル事業

## 1 事業の趣旨

図書館の蔵書を携帯電話や自宅のパソコンなどから予約するインターネット予約が増加しているため、インターネット予約図書の受取・返却窓口である図書館に加えて、市民にとって身近な公民館を受取・返却窓口にする事で、図書館サービスの充実を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 内容及び期間

モデル事業として、平成28年7月から高松・福田公民館で、10月から高島公民館で実施し、29年度もモデル事業を継続しています。平成30年度は、現行の3公民館を継続するとともに、新たに2公民館で事業を実施します。

### (2) 実施公民館

○継続3館 ・高松公民館                      ・福田公民館                      ・高島公民館  
○新規2館 ・吉備公民館                      ・操山公民館

## 3 要求額

(1) 歳出額    8,823 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源    8,823 千円

(前年度当初予算額                                      3,500 千円)

担当課名	中央図書館
担当者名	館長 宮本 嘉彦
電 話	直通 086-223-3373

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 図書館相互利用

## 1 事業の趣旨

自治体の枠を超えて「図書館の相互利用」に取り組むことで、連携市町住民の利便性向上を図ります。

## 2 事業内容

- ・岡山連携中枢都市圏に参加する自治体のうち、5市4町(岡山市、玉野市、備前市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町)において、平成29年11月から図書館相互利用(本の貸出等)を実施しています。
- ・平成30年度からは相互返却(借りた図書館以外の図書館への返却)を実施します。

## 3 要求額

(1)歳出額	3,103 千円
(2)財源内訳	
・その他	225 千円
・一般財源	2,878 千円
(前年度当初予算額)	1,100 千円)

担当課名	中央図書館
担当者名	館長 宮本 嘉彦
電 話	直通 086-223-3373

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 公民館Free Wi-Fi整備事業 新規

## 1 事業の趣旨

地域における情報化教育推進の拠点として、公民館のロビーにおいて利用可能な公衆無線LANのアクセスポイント(Free Wi-Fi)を整備し、利用者の利便向上を図ります。

## 2 事業内容

公衆無線LANのアクセスポイント(Free Wi-Fi)を公民館に整備し、公民館の利用者が公民館ロビーにおいて自らのパソコン等から公衆無線LANを利用して、インターネットに接続できるようにします。

## 3 要求額

(1)歳出額 201 千円

(2)財源内訳

・一般財源 201 千円

(前年度当初予算額 - 千円)

担当課名	中央公民館
担当者名	館長 西崎 修
電 話	直通 086-272-7886

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山ESDプロジェクト推進事業

## 1 事業の趣旨

ESDの周知・啓発活動やESD活動団体の支援、ESD活動の情報発信などにより、ESDの認知度を向上させ、研修事業等により連携市町のESDの理解を深めるとともに、ESD活動に取り組む人材を育成し、より質の高いESD活動の推進を図ります。また、ホストタウン事業を引き続き活用し、ESD活動を更に充実・拡大させていきます。

## 2 事業内容

- 関係省庁との連絡・調整やユネスコのキーパートナーとの連携・交流等
- 「おかやまESDなび」による情報発信
- ブルガリアとの交流(ホストタウンとしての取組)
- 岡山ESD推進協議会事業
  - ・岡山ESDプロジェクト助成金
  - ・ESDコーディネーター養成研修の実施
  - ・ESD岡山アワードの実施
  - ・国内外のRCE等との交流促進
  - ・ESD学生インターンシップ(地方創生総合戦略関連事業)の実施
  - ・連携中枢都市圏に係るESD研修(連携中枢都市圏関連事業)の実施 等

## 3 要求額

(1)歳出額 30,710 千円

(2)財源内訳

・一般財源 30,710 千円

(前年度当初予算額 30,635 千円)

担当課名	市民協働局ESD推進課
担当者名	課長 仁科 俊彦
電 話	内線 3761
	直通 086-803-1351

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業

## 1 事業の趣旨

地域住民の交流促進を目的とした町内会の行事等に必要な備品の修繕等に対し、その費用の一部を補助することにより、コミュニティの維持発展を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 補助対象団体

岡山市町内会名簿に掲載されている町内会(複数の単位町内会や学区・地区連合町内会も含む)

### (2) 補助対象備品

町内会が所有・維持管理を行い、コミュニティ活動を推進するための行事等に必要な備品

## 3 要求額

(1) 歳出額 10,000 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 10,000 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

担当課名	市民協働局市民協働企画総務課
担当者名	課長 赤木 和彦
電 話	内線 3270
	直通 086-803-1031



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 区まちづくり独自企画事業 新規

## 1 事業の趣旨

区役所が主体となって身近なまちづくりや地域課題の解決に取り組むために、区長会議などで施策等を企画調整しながら、各区のまちづくりを推進します。

身近な地域課題である防災と健康をテーマに、区民の力を活かした健やかで安全・安心なまちづくりを進めます。

## 2 事業内容

### ○地区防災訓練【北区】

区民が自ら考える防災訓練について、地区を募集、選定のうえ実施します。

### ○地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業【中区】

山陽学園大学・短期大学との包括連携協定に基づき、市と大学の教員と学生の連携により、高齢者等への健康・栄養指導相談を実施します。

### ○自主防災会支援事業【東区】

東区の災害の歴史や地域活動の重要性についての防災シンポジウムを開催します。

### ○地域防災力強化事業【南区】

防災専門家の派遣、防災訓練ハンドブック作成などを行い、防災への関心を高めます。

## 3 要求額

(1)歳出額 10,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 10,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	北区役所総務・地域振興課	中区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 河本 文一	課長 猪早 倫子
電 話	内線 4190	内線 71-212
	直通 086-803-1655	直通 086-901-1601
担当課名	東区役所総務・地域振興課	南区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 栗井 慎二	課長 宮安 好子
電 話	内線 72-211	内線 73-310
	直通 086-944-5006	直通 086-902-3500

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山市・サンホセ市姉妹都市締結50周年記念事業

新規

## 1 事業の趣旨

岡山市とコスタリカ共和国・サンホセ市は昭和44年(1969年)1月に姉妹都市締結をして以来、10年毎の周年時に市民訪問団の相互派遣や、教育分野を重点とした交流などを行ってきました。

平成30年度は50周年の節目を迎えることから、記念事業として、市民訪問団の派遣やサンホセ市を紹介するパネル展を開催し、半世紀にわたる交流の足跡を振り返るとともに、これらの事業を契機として今後の継続的な交流の推進を図ります。

## 2 事業内容

○岡山市民友好親善訪問団(サンホセ市)派遣 (平成31年1月頃)

- ・サンホセ市長表敬訪問
- ・サンホセ市内視察等

○サンホセ50周年関連事業

- ・サンホセパネル展の実施
- ・サンホセ50周年記念ロゴの公募

(平成31年度)

○サンホセ市公式訪問団の受入(平成31年10月頃)

- ・歓迎レセプション
- ・岡山市内視察等

## 3 要求額

(1)歳出額 3,938 千円

(2)財源内訳

- ・その他 1,325 千円
- ・一般財源 2,613 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民協働局国際課
担当者名	課長 田中 哲也
電 話	内線 3250
	直通 086-803-1112

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域共生社会推進事業

新規

## 1 事業の趣旨

個人・世帯が介護、障害、子育て、生活困窮など複雑化・複合化した課題を抱えた場合でも、市の関係課や相談機関が連動し、適切な支援を行えるよう、総合的な相談支援体制づくりを推進し、地域共生社会の実現を目指します。

## 2 事業内容

○新たに相談支援包括化推進員を配置するなど、市の関係課・相談機関と連動して複雑・複合課題への対応を促進します。

○市民と医療等の専門職に対して、在宅での暮らしに関するリーフレットを作成するなど、サービス提供の見える化を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 23,722 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 14,991 千円

・一般財源 8,731 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉企画総務課
担当者名	課長 井上 満千夫
電 話	内線 5830
	直通 086-803-1204

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 健康寿命延伸プロジェクト

## 1 事業の趣旨

健康寿命の延伸に向け、運動の普及・定着、高血圧や脳卒中予防に向けた食生活の改善、健康に取り組む仲間づくりといった、健康づくりに取り組みやすい働きかけと基盤整備を行います。

## 2 事業内容

- 健康ポイント事業
- 新健康ポイント事業(仮称)
- 健康市民おかやま21(第2次)中間評価事業
- かるうま減塩対策普及啓発事業
- 高齢者に対する低栄養予防アドバイス事業
- 桃太郎のまち健康推進応援団事業

## 3 要求額

(1)歳出額	70,145 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	2,946 千円
・その他	50,000 千円
・一般財源	17,199 千円
(前年度当初予算額)	91,840 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生涯現役社会づくり事業

## 1 事業の趣旨

今後の超高齢社会を見据え、高齢になっても市民一人ひとりが生活を通じて心身ともに健やかに暮らせるために、意欲のある高齢者が培った能力や経験を活かし、生涯現役で活躍し続けることができる社会環境を整えます。

岡山市は、これらの社会環境を整えるための体制づくりに取り組みます。

## 2 事業内容

- ・高齢者と企業や地域社会の活躍できる場をつなぐ、生涯現役応援センターの運営
- ・生涯現役応援センターで高齢者の相談に応じ、活躍の場の情報収集を実施
- ・岡山市関係課、公民館及びサロンなどの各種団体に事業を周知
- ・出張相談会、セミナー等の開催
- ・高齢者の受け皿となる新規分野の開拓

## 3 要求額

(1)歳出額 20,688 千円

(2)財源内訳

・一般財源 20,688 千円

(前年度当初予算額 20,688 千円)

担当課名	保健福祉局地域包括ケア推進課
担当者名	課長 岸川 和忠
電 話	内線 5980
	直通 086-803-1246

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 在宅医療介護連携推進事業

## 1 事業の趣旨

超高齢社会の中、市民が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らすことができるように、医療・介護分野の連携機能を強化するとともに、安心を支える最適な地域医療システムを構築し、予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けられる仕組みをつくります。

## 2 事業内容

### (1)「地域ケア総合推進センター」

- ・ 市民及び専門職を対象とした医療・介護の相談・支援
- ・ 在宅医療推進・多職種連携の拠点
- ・ 地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進

### (2)在宅医療・介護連携基盤の確立

- ・ 在宅基盤整備(人材育成)
- ・ 在宅への流れの構築(多職種連携等と情報共有の促進)
- ・ 市民の安心(普及啓発)
- ・ 地域の特性に応じた在宅医療・介護サービス提供体制の構築

## 3 要求額

(1)歳出額 58,005 千円  
一般会計 27,975千円 介護保険費特別会計 30,030千円

(2)財源内訳

・国庫支出金	10,021 千円
・県支出金	5,010 千円
・その他	5,989 千円
・一般財源	36,985 千円

(前年度当初予算額 51,900 千円)

担当課名	保健福祉局医療政策推進課
担当者名	課長 大月 須美子
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 在宅介護総合特区推進事業

## 1 事業の趣旨

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

## 2 事業内容

### ○デイサービス改善インセンティブ事業

通所介護事業所の介護サービスを評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所についてインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図ります。

### ○介護機器貸与モデル事業

在宅で生活する人の利便性向上や自立につながる最先端の介護機器を1割負担で貸与します。

### ○総合特区推進事務費

## 3 要求額

(1)歳出額 77,288 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金	23,065 千円
・県支出金	11,532 千円
・その他	17,459 千円
・一般財源	25,232 千円

(前年度当初予算額 75,600 千円)

担当課名	保健福祉局医療政策推進課
担当者名	課長 大月 須美子
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 難病医療費助成等事業 新規

## 1 事業の趣旨

平成30年4月1日から、これまで都道府県が行っていた難病医療費に係る事務が政令市に移譲されることとなり、医療費の支給認定等を行います。

## 2 事業内容

- 医療費の支給事務
  - ・医療費 約800,000千円、受給者数 約6,600人
- 指定医・指定医療機関の指定事務
- 難病相談支援センターを保健所内に設置
  - ・療養生活や医療に関する各種相談と、福祉・医療制度の申請相談について、一体的な相談支援を実施します。
  - ・関係機関と連携することで、実効性のある相談支援業務を実施します。

## 3 要求額

(1)歳出額 838,050 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 396,140 千円

・一般財源 441,910 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局保健管理課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 国民健康保険財政健全化推進事業

## 1 事業の趣旨

岡山市の国民健康保険は、被保険者が減少している一方、高齢者の割合が高く、医療費の増加が見込まれ、財政運営は、ますます厳しくなっていくことが想定されます。

国民健康保険料の収納率向上や医療費適正化などの保険者努力に今後も継続して取り組みながら、国民健康保険財政の安定的な運営を図ります。

## 2 事業内容

### ○保険料収納率向上特別対策事業

申告勧奨や不現住調査による賦課の適正化、電話催告、夜間納付相談等による滞納対策、口座振替促進による滞納未然防止対策等

### ○ジェネリック医薬品差額通知等事業

ジェネリック医薬品を利用した場合の自己負担額の差額を通知

### ○早期介入保健指導等事業

35歳～39歳の被保険者に対する健診実施、糖尿病対策歯周病検診実施、慢性腎臓病等に着目した保健指導、糖尿病性腎症重症化予防等

### ○特定健康診査等事業

特定健康診査の実施、節目年齢への集中受診勧奨等による特定健診受診率向上のための施策

## 3 要求額

(1)歳出額 433,228 千円

(2)財源内訳

・県支出金 233,073 千円

・一般財源 200,155 千円

(前年度当初予算額 441,987 千円)

担当課名	保健福祉局国保年金課
担当者名	課長 小野 伸一
電 話	内線 5970
	直通 086-803-1136

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ユニバーサルデザイン推進事業

新規

## 1 事業の趣旨

多様な市民が暮らすまちとして、岡山市の強みである「住みやすさ」に磨きをかけていくため、ユニバーサルデザイン・共生社会(以下「UD」という。)のまちづくりが求められています。多様な人々が暮らしやすいハード・ソフト両面でのUDを進め、市民の意識醸成を図り、UDのグランドデザインを描き、UDを実現させるための取組みを一層進めていきます。

## 2 事業内容

- ・ユニバーサルデザイン・共生社会実現本部を設置し、全庁を挙げた検討を行うとともに、民間との検討の場を開催します。
- ・ユニバーサルデザインに関する実態調査を実施します。
- ・実態調査などをもとに、岡山市ユニバーサルデザイン実現計画を策定し、次年度以降の事業展開を図ります。

## 3 要求額

(1)歳出額 7,621 千円

(2)財源内訳

・一般財源 7,621 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ヘルプマーク普及・促進事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

聴覚障害者、内部障害者、知的障害者、妊婦など、一見助けが必要とはわからない方が周囲に自己の障害などの理解や助けを求める手段として、ストラップ型の「ヘルプマーク」を配付します。

「障害者の社会参加の促進」に向け、援助等を必要としている方に対する市民の理解を深め、障害者の自立と社会参加を促進を目指します。

## 2 事業内容

### (1) 対象者

聴覚障害者、内部障害者、知的障害者、妊婦その他の援助を必要としている方

### (2) 申請方法及び使用方法

- ・福祉事務所、保健所などの窓口で申請及び交付を行います。
- ・外出時等に周囲の人の援助が必要な場合に、相手に提示し手助けを求めます。

### (3) 啓発

福祉事務所や保健センターなどで現在配付中のヘルプカードと併せて、ヘルプマークの啓発を行うことにより、支援や配慮を必要としている方々への理解を深めます。

啓発チラシの作成、広報紙、ホームページ等での市民への啓発を行うとともに、障害者週間などの機会を活用し、マークの周知や「心のバリアフリー」に向けた取り組みを行います。

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,600 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 50 千円
- ・県支出金 25 千円
- ・一般財源 1,525 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 障害者就労支援事業

## 1 事業の趣旨

就労は障害者の自立・社会参加の重要な柱となるので、障害者がその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、福祉、雇用、教育等の各分野との連携を図りながら一般就労支援に取り組むとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。

## 2 事業内容

### (1) 障害者一般就労支援事業

- ① 障害者を雇用する企業、職場実習の受入企業の開拓
- ② 福祉施設から一般就労への移行支援
- ③ 障害者就職面接会開催
- ④ 面接会により就職した障害者への職場定着支援の提供
- ⑤ 就労支援セミナー(年2～3回)、企業交流会等の開催(年2～3回)

### (2) 障害者就労定着支援事業

- ① 働く障害者のための交流拠点事業  
働く障害者等が交流や相談ができる拠点の整備等により職場定着を推進
- ② 障害者職場定着支援活動費補助金  
障害者就労支援施設で就労している障害者に職場定着支援活動の費用を助成

### (3) 障害者工賃向上支援事業

- ① 障害者就労施設商品ブラッシュアップ事業  
商品の改良・開発、販路拡大を支援し、工賃向上を促進
- ② 障害者工賃レベルアップ支援事業  
月額平均工賃が全国平均を下回る就労施設の経営改善を支援し、工賃向上を促進

## 3 要求額

(1) 歳出額 26,068 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 2,907 千円
- ・県支出金 1,453 千円
- ・一般財源 21,708 千円

(前年度当初予算額 22,700 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 障害者の地域生活への移行の推進

## 1 事業の趣旨

障害者が地域で安心して暮らすための支援体制を整備することにより、障害があっても地域で暮らしていけるよう地域生活への移行や定着を支援します。

## 2 事業内容

### (1) 相談支援体制の拡充

体験の機会・場の提供、専門的人材の育成により、障害児者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みである地域生活支援拠点の機能の強化を図ります。

### (2) 訪問入浴サービス

平成29年10月から開始した訪問入浴サービスを継続し、自宅の入浴設備が十分でない等により在宅での入浴が困難で、かつ、通所(生活介護)による入浴支援を受けることが困難な在宅の重度障害者の地域生活を支援します。

## 3 要求額

(1) 歳出額 66,449 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 33,224 千円  
・県支出金 16,612 千円  
・一般財源 16,613 千円

(前年度当初予算額 31,500 千円)

担当課名	保健福祉局障害福祉課
担当者名	課長 近藤 雅明
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1235

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生活困窮者自立支援事業

## 1 事業の趣旨

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある者を対象に自立支援事業を実施します。

## 2 事業内容

生活困窮状態にある者に対して、生活保護に至る前の段階で、対象者の状態に応じた支援を行い、困窮状態からの早期脱却を支援します。

- 自立相談支援事業  
困窮者からの相談を幅広く受け、既存の制度・福祉サービス等を活用し、専門支援機関等と連携しながら、一人ひとりの状況に応じて、生活の安定に向けた支援を行います。
- 住居確保給付金の支給  
離職者等で、所得が一定水準以下の者に対し、有期で家賃相当額を給付します。
- 就労準備支援事業  
直ちに一般就労が困難な困窮者に、就労に向けて生活訓練や社会訓練を有期で実施します。
- 一時生活支援事業  
住居のない困窮者に一定期間、宿泊場所・衣食を提供し、就労等自立に向けて支援します。
- 家計相談支援事業  
家計に問題を抱える困窮者が自ら家計管理できるよう支援します。
- 学習支援事業  
生活保護受給世帯の中学生等を対象に個別学習・相談支援を行い高校進学を支援するとともに、進学後の中退防止等に取り組みます。
- 就労訓練事業の推進  
就労訓練事業の認定を受けた法人の事業開始に係る経費に対して助成を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 131,257 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 84,341 千円

・一般財源 46,916 千円

(前年度当初予算額 124,995 千円)

担当課名	保健福祉局生活保護・自立支援課
担当者名	課長 谷杉 典子
電 話	内線 5940
	直通 086-803-1349

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生活保護適正実施の推進

## 1 事業の趣旨

稼働能力を有する生活保護受給者に対し、様々な角度から就労支援を行うとともに、生活保護費の約半分を占める医療扶助適正化を図ること等により、生活保護制度の適正実施を推進します。

## 2 事業内容

### ○ 生活保護受給者就労支援事業

稼働能力を有する生活保護受給者に対し、様々な角度から就労支援を行うことにより能力活用及び世帯の自立を促進します。

- ・就労支援相談員の活用
- ・ハローワークとの連携による一体的実施
- ・就職サポート事業及び就労準備支援事業の実施

### ○ 医療扶助適正化推進事業

後発医薬品の使用促進、適正受診指導や健康面に着目した支援による生活習慣病等の重症化予防等により、医療扶助の適正化を図るとともに、自立を促進します。

- ・医療扶助適正化推進員の活用
- ・レセプト内容点検の充実
- ・専門員配置等による後発医薬品の使用促進
- ・保健師等による健康面に着目した支援の実施

### ○ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業補助金

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会が行う要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付に要する費用に対し補助金を交付します。

## 3 要求額

(1)歳出額 116,478 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 85,958 千円

・一般財源 30,520 千円

(前年度当初予算額 100,212 千円)

担当課名	保健福祉局生活保護・自立支援課
担当者名	課長 谷杉 典子
電 話	内線 5940
	直通 086-803-1349

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 訪問介護看護事業所等の整備

## 1 事業の趣旨

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定める必要なサービス量を確保するため、岡山県地域医療介護総合確保基金事業費補助金を活用し、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の開設整備を支援します。

## 2 事業内容

### (1) 内容

新規事業所の参入・開設を促すため、事業所開設費用(ハード・ソフト)に対して補助を行います。

### (2) 平成30年度対象施設

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 : 5施設

看護小規模多機能型居宅介護事業所 : 1施設

## 3 要求額

(1) 歳出額 117,439 千円

### (2) 財源内訳

・県支出金 117,439 千円

(前年度当初予算額 79,850 千円)

担当課名	保健福祉局事業者指導課
担当者名	課長 松尾 隆通
電 話	内線 3087
	直通 086-212-1013



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道・河川による浸水対策事業

## 1 事業の趣旨

近年の集中豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、岡山市浸水対策の推進に関する条例に基づき策定した浸水対策基本計画を踏まえ、下水道や河川の計画的な整備を進めます。さらに、市民や事業者と連携した総合的な浸水対策や雨水ゲートの遠隔操作化等による対応の迅速化など、効果的な浸水対策に取り組めます。

## 2 事業内容

- 市民との協働、意識啓発による地域防災の推進
  - ・市民設置の雨水貯留施設への助成
  - ・小学校への雨水貯留施設設置事業
  - ・事業者設置の雨水流出抑制施設への助成【拡充】
- ゲリラ豪雨等に対応した管理の高度化
  - ・雨水ゲートの遠隔操作化事業
- 効率的な浸水対策の検討
  - ・今保排水区浸水対策検討事業【新規】
  - ・浜排水区局所的浸水対策検討事業【新規】
- 計画的な下水道整備
  - ・浦安排水区雨水幹線整備事業(第1期)【新規】
  - ・芳田第1ゲート整備事業【新規】
- 計画的な河川整備
  - ・倉安川流域治水対策河川改修工事

## 3 要求額

(1)歳出額 1,220,000 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 489,650 千円
- ・地方債 509,000 千円
- ・一般財源 221,350 千円

(前年度当初予算額 763,620 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 浸水対策特別事業

## 1 事業の趣旨

増加する集中豪雨に対し、より効果的に浸水対策を行うためには、下水道、河川、農林、道路等の関係部局が連携し、対策に取り組んで行くことが重要です。このため、各所管の排水施設等を最大限有効活用し、局所的ながらも即効性のある浸水対策に取り組みます。

## 2 事業内容

○排水機場整備及びポンプの増設

- ・藤田地区排水機場基本設計業務委託【新規】
- ・植松地区における排水機場の詳細設計業務委託
- ・小串地区における排水機場のポンプ設置工事

○緊急時内水排除ポンプの配備(可搬式ポンプ)

○既存用水路等の整備、改良等による排水能力の向上

- ・普通河川、用水路の浚渫事業
- ・樋門の電動化等工事

## 3 要求額

(1)歳出額 176,200 千円

(2)財源内訳

・地方債 99,800 千円

・一般財源 76,400 千円

(前年度当初予算額 250,100 千円)

担当課名	雨水排水対策マトリックス班
担当者名	班長 尾藤 博
電 話	内線 4902
	直通 086-803-1496

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市場耐震改修整備事業

## 1 事業の趣旨

岡山市中央卸売市場及び岡山市花き地方卸売市場(以下、「市場」という。)において、地震による建築物の倒壊等の被害から市場関係者の生命、身体及び財産を保護し、災害に強い市場を実現するため、建築物の耐震化を進めます。

## 2 事業内容

青果卸売棟、水産卸売棟及び花き卸売棟の耐震改修工事を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 244,000 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 81,333 千円

・地方債 162,600 千円

・一般財源 67 千円

(前年度当初予算額 124,536 千円)

担当課名	市場事業部
担当者名	事業担当課長 小川 卓志
電 話	内線 3084
	直通 086-265-8001

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 橋梁長寿命化対策・耐震補強事業

## 1 事業の趣旨

南海トラフ巨大地震の発生の可能性が高まる中、救急活動や緊急物資輸送のための道路交通の確保が懸念されています。

また、市管理橋梁は高度成長期に多数建設されており、その老朽化と適切な維持管理が課題となっています。

そこで、災害時の救急活動や緊急物資運搬のための道路交通の確保や、老朽化している橋梁について適切な維持管理を図るため、優先度の高い橋梁から順次耐震補強や長寿命化対策を実施します。

## 2 事業内容

### (1) 事業内容

- ・ 橋長2m以上の橋梁の定期点検(890橋)
- ・ 長寿命化のための詳細設計の実施(16橋)
- ・ 橋梁補修工事の実施(9橋)
- ・ 耐震補強工事の実施(3橋)
- ・ 耐震補強工事の工事委託(1橋)

(2) 期 間 平成21年度～平成34年度

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,210,000 千円

### (2) 財源内訳

- ・ 国庫支出金 663,500 千円
- ・ 地方債 442,200 千円
- ・ 一般財源 104,300 千円

(前年度当初予算額 1,156,000 千円)

担当課名	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 大林 弘明
電 話	内線 3660
	直通 086-803-1416

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 住宅・建築物耐震改修等補助事業

## 1 事業の趣旨

南海トラフによる巨大地震の可能性が指摘されるなか、市民の安心・安全を確保し、人的・経済的被害を軽減するために、木造住宅及び建築物の耐震診断、改修等の補助を行い耐震化の促進を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 補助対象

市内に存する住宅・建築物で、昭和56年5月31日以前に着工された建物で、かつ、所有者が市税を完納しているなど市の要綱に合致しているもの

### (2) 診断・改修補助内容

〔耐震診断〕

区 分	内容
木造住宅	耐震診断
	補強計画
戸建て住宅	耐震診断
建築物	耐震診断
要安全確認計画記載建築物	耐震診断

〔耐震改修〕

区 分	内容
木造住宅	全体改修
	部分改修等
要安全確認計画記載建築物	補強設計
	耐震改修
大規模建築物	補強設計
	耐震改修

## 3 要求額

(1) 歳出額 217,028 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 101,325 千円  
 ・県支出金 55,334 千円  
 ・一般財源 60,369 千円

(前年度当初予算額 183,400 千円)

担当課名	都市整備局建築指導課
担当者名	課長 大月 宏行
電 話	内線 4610
	直通 086-803-1445

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 用水路等安全対策事業

## 1 事業の趣旨

岡山市は、市域南部を中心に約4,000kmの用水路が縦横に張り巡らされており、近年、転落死亡事故が多発するなど、その対応が喫緊の課題となっています。

このような状況をふまえ、用水路等の危険箇所に対する安全対策を図るため、平成28年度に実施した用水路等一斉点検により把握した転落危険箇所等について、優先度の高い箇所から集中的に対策工事を実施します。

## 2 事業内容

### (1) 事業内容

- ・ 用水路危険箇所の安全対策工事の実施

転落防止柵等設置

【平成29年度～平成30年度】 約900箇所

### (2) 期 間

平成29年度～平成30年度

## 3 要求額

(1) 歳出額 341,260 千円

### (2) 財源内訳

・ 一般財源 341,260 千円

(前年度当初予算額 339,500 千円)

担当課名	産業観光局農村整備課	都市整備局道路港湾管理課
担当者名	課長 西野 篤範	課長 大林 弘明
電 話	内線 4570	内線 3660
	直通 086-803-1348	直通 086-803-1416

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 水道施設・管路耐震化等更新事業

## 1 事業の趣旨

水道水の安定供給にも寄与しつつ、南海トラフ巨大地震に備え、災害被害の極小化と最低限の給水確保を図ります。

## 2 事業内容

浄水設備、配水池などの水道施設や老朽管の更新を中心とした水道管路の更新及び耐震化を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 7,350,181 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金	33,450 千円
・地方債	1,000,000 千円
・その他	26,200 千円
・一般財源	6,290,531 千円

(前年度当初予算額 7,559,000 千円)

担当課名	水道局経営管理課
担当者名	課長 石井 昌生
電 話	直通 086-234-5914

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道施設の再構築(リノベーション)事業

## 1 事業の趣旨

市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止などを未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。

## 2 事業内容

- 下水処理場の統廃合
  - ・芳賀佐山、流通団地浄化センターの統廃合に向けた整備事業
- 農業集落排水施設の統廃合
  - ・農業集落排水施設の統廃合に向けた最適整備構想の策定
- 施設の長寿命化
  - ・岡南ポンプ場長寿命化・耐震化工事【新規】
  - ・岡東ポンプ場長寿命化・耐震化工事【新規】
  - ・ストックマネジメント計画の策定【新規】
  - ・笹ヶ瀬ポンプ場、旭西排水センターほか長寿命化工事
  - ・瀬戸浄化センターほか長寿命化工事

## 3 要求額

(1)歳出額 3,505,434 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 1,450,240 千円
- ・地方債 1,947,800 千円
- ・一般財源 107,394 千円

(前年度当初予算額 3,313,047 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道施設の耐震化対策の推進

## 1 事業の趣旨

地震時においても下水道に求められる最低限の機能を確保するため、下水道施設における地震対策を進めます。また、災害時の避難場所における災害用トイレとして、マンホールトイレを整備します。

## 2 事業内容

○南海トラフ巨大地震の発生に備え、地震対策の推進  
・笹ヶ瀬ポンプ場耐震化ほか工事【新規】  
・岡南ポンプ場長寿命化・耐震化工事(再掲)  
・岡東ポンプ場長寿命浄化・耐震化工事(再掲)

○災害用マンホールトイレの整備  
・災害用マンホールトイレ整備事業【新規】

## 3 要求額

(1)歳出額 764,200 千円

### (2)財源内訳

・国庫支出金 382,100 千円  
・地方債 344,600 千円  
・一般財源 37,500 千円

(前年度当初予算額 695,845 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域防災力の向上

## 1 事業の趣旨

災害に強く安全・安心に暮らせるまちを目指し、備蓄の推進や地域防災力の向上を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 自主防災会の育成事業

○自主防災会結成時や防災訓練実施時に、防災資機材の給付を行います。

○自主防災会による地域防災マップの作成支援として、地域防災マップの印刷費用を助成します。

○地域の防災リーダーを育成するため、市民を対象に防災まちづくり学校の開催、公民館職員及び町内会役員等への防災講習会を実施します。

### (2) 備蓄の推進

○家庭内備蓄の周知啓発を行います。

○「岡山市備蓄計画」(平成30年3月策定予定)に基づき、備蓄事業を推進します。

### (3) 総合防災訓練等の実施

○区本部が主体的に避難所運営できるよう訓練を実施します。

○地元住民が参加して避難所運営訓練を実施します。

○すべての区で避難所運営訓練を実施します。

## 3 要求額

(1) 歳出額 77,221 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 77,221 千円

(前年度当初予算額 110,885 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	地域防災担当課長 倉橋 正浩
電 話	内線 5854
	直通 086-803-1082

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 本庁舎等整備事業 新規

## 1 事業の趣旨

本庁舎は不特定多数の者が利用し、災害時の拠点にもなる重要な施設ですが、昭和43年の建設から約50年が経過し、老朽化が進んでいます。

加えて現行の耐震基準を満たしていないため耐震性が低く、大規模地震の発生時には倒壊又は崩壊の危険性が高いという耐震診断結果が出るなど、早急な対応が必要な状況にあることから、本庁舎の耐震化に向けた整備を進めます。

## 2 事業内容

○本庁舎等整備に係る基本構想を策定

平成25年度に実施した「岡山市本庁舎耐震化等」の検討を踏まえ、本庁舎等整備に係る基本構想を策定します。

(1) 本庁舎整備の必要性の整理

- ・本庁舎の現状と課題のまとめ

(2) 基本方針の策定

- ・整備方針の検討

(3) 基本方針を踏まえた検討

- ・事業手法等の検討

## 3 要求額

(1) 歳出額 17,000 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 17,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	総務局庁舎管理課
担当者名	課長 板野 吉浩
電 話	内線 4420
	直通 086-803-1152

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 消防署所適正配置事業

## 1 事業の趣旨

増加する救急需要と多様化する各種災害に適切に対応するため、消防力のバランスに配慮した適正な場所に消防署所を配置、維持管理し、いついかなる時も、求める人すべてに等しく、より安心して質の高い消防サービスを提供します。

## 2 事業内容

(1) 消防局総合計画(消防署所適正配置)に基づき、消防力のバランスに配慮し、中消防署旭東出張所を中区倉田地内に新築移転します。

○スケジュール

平成30年度:用地購入、地質調査、実施設計等

平成31年度:建築

平成32年度:運用開始

(2) その他、消防施設の整備や解体処分等を計画的に実施します。

## 3 要求額

(1) 歳出額 81,225 千円

(2) 財源内訳

・地方債 69,400 千円

・一般財源 11,825 千円

(前年度当初予算額 20,459 千円)

担当課名	消防局消防企画総務課
担当者名	課長 上田 匡
電 話	内線 3770
	直通 086-234-9970

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

救急業務ICT化事業

新規

## 1 事業の趣旨

岡山県救急医療情報システムと消防指令システムを連携したモバイル端末を救急車に積載することで、救急隊による効率的な病院選定で病院到着時間を短縮させ、現場からの具体的な情報伝達により傷病者に対して早期処置が施せるものとします。また、傷病者にとって適切な搬送を実施したかを医療機関で事後検証が行える体制を構築することにより、救命率の向上を目指します。

## 2 事業内容

救急現場で医療機関情報の閲覧や傷病者情報の送信ができるタブレットを導入し、病院到着時間の短縮や傷病者への早期処置の実現を図ります。さらに、岡山県救急医療情報システムと消防指令システムを連携させ、医療機関において搬送実績の閲覧を可能とし、傷病者にとって最良の救急活動の検証が行えるよう整備を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 24,742 千円

(2)財源内訳

・一般財源 24,742 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	消防局情報指令課
担当者名	課長 堺 由夫
電 話	内線 3774
	直通 086-253-9982

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』に基づく事業

## 1 事業の趣旨

刑法犯認知件数の減少と体感治安の向上を目標として、平成27年11月に岡山市と岡山県警察本部との間で締結した覚書『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』に基づいて、市民生活の安全・安心のため、交通安全及び防犯において様々な施策を実施していきます。

## 2 事業内容

### ○自転車安全運転免許証交付事業

市民への正しい自転車の交通ルールやマナーの周知と市民の交通安全意識の一層の向上を図るため、児童が自転車を本格的に乗り始める段階で交通ルールやマナーを楽しく学び、交通安全意識を高めることにより、自転車事故の防止につなげます。

### ○特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業

特殊詐欺被害の未然防止を図るため、詐欺対策機能を有した電話機の購入に補助金を交付するとともに、設置後の事業効果を分析するため、アンケート調査を行います。

### ○地域防犯ボランティア支援事業

地域の防犯ボランティア団体等に対して現地指導や啓発活動などを行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 5,310 千円

(2)財源内訳

・一般財源 5,310 千円

(前年度当初予算額 5,370 千円)

担当課名	市民生活局生活安全課
担当者名	課長 安部 裕嗣
電 話	内線 3230
	直通 086-803-1277

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 緊急情報伝達手段の整備事業

新規

## 1 事業の趣旨

大規模自然災害が発生したときに、避難行動の遅れ等で多数の死傷者が発生しないよう情報伝達手段の充実を図る施策を実施します。

## 2 事業内容

市民に対する緊急情報伝達手段の充実を図るため、計画的な機器更新及び新たな技術への対応など、岡山市全域における緊急情報伝達通信機器の更新や機能強化に関する基本設計・実施設計を行います。

## 3 要求額

(1)歳出額 40,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 40,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	危機管理担当課長 田淵 康弘
電 話	内線 5850
	直通 086-803-1082

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地球温暖化対策推進事業

## 1 事業の趣旨

国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」と連携し、あらゆる世代に対して地球温暖化防止への意識の醸成を図るとともに、地域特性を活かした地産地消・自立分散型のエネルギーシステムの構築や、水素をはじめとする新エネルギーの利活用を進めることにより、温室効果ガスの削減を図り低炭素社会の実現を目指します。

## 2 事業内容

○水素社会の実現に向けた「燃料電池自動車普及促進事業」

岡山市南区に岡山県では初となる商用水素ステーションが整備されたことに合わせて、水素を燃料とする燃料電池自動車の普及を目指し、公用車としての率先導入や導入された個人・事業者への助成制度を創設します。

○スマートコミュニティの実現に向けた「面的スマートエネルギー導入促進事業」

国が進めるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)やZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の取組に併せて、「面的」なエネルギー利用の最適化・効率化を促進させる助成制度を創設します。

○市民と連携した低炭素社会の実現に向けた「COOL CHOICE普及啓発事業」

地元トップチームとの連携によるイベント開催や、スーパーマーケットで地産地消や環境に配慮した商品の紹介などを通じて、COOL CHOICEの普及を図ります。

## 3 要求額

(1)歳出額 376,318 千円

### (2)財源内訳

・県支出金 32,475 千円

・その他 9,240 千円

・一般財源 334,603 千円

(前年度当初予算額 327,310 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 槇尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1282



# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 開発事業に対する環境配慮の推進

## 1 事業の趣旨

自然環境への配慮が必要な共生地区内で行われる一定規模以上の開発事業について届出を求める「共生地区環境配慮届出制度」の運用や、大規模な開発事業に対しては市独自の「環境影響評価制度」を導入し、岡山市の地域特性に応じた適切な環境配慮を推進します。

## 2 事業内容

### ○共生地区環境配慮届出制度の運用

共生地区配慮届出制度を通して、自然環境や生物多様性の保全に関する適切な配慮を推進します。

### ○環境影響評価制度の導入

制度導入に向けて、施行規則及び技術指針の策定に取り組むとともに、制度周知リーフレットを作成します。

## 3 要求額

(1)歳出額 4,250 千円

(2)財源内訳

・一般財源 4,250 千円

(前年度当初予算額 4,770 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 榎尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1284

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ごみ処理広域化対策事業

## 1 事業の趣旨

岡山市都市ビジョンの中で示されている廃棄物の適正処理の確保を行うため、ごみ処理広域化における新施設の建設候補地を選定し、施設整備を行います。

## 2 事業内容

### (1) 内容

ごみ処理広域化における新施設の建設候補地の選定を行います。適正な規模を確保し、広域的な処理に対応した施設整備を行います。

### (2) 期間

平成26年度～平成37年度

### (3) 実施主体

岡山市(玉野市及び久米南町から事務委託)

## 3 要求額

(1) 歳出額 37,975 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金	12,448 千円
・地方債	22,400 千円
・その他	2,707 千円
・一般財源	420 千円

(前年度当初予算額 14,500 千円)

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道未普及対策推進事業

## 1 事業の趣旨

岡山市の汚水処理人口普及率は81.9%（下水道処理人口普及率66.1%）であり、未だに12万8千人の市民が汚水処理施設を利用できない状況にあります。このため、未普及地区の早期解消に向け、概ね10年間の整備計画であるアクションプランに基づき、計画的な下水道の整備に取り組みます。

## 2 事業内容

○新たに着手する地区の未普及対策推進事業

- ・高松、吉備津、牟佐地区の基本設計業務委託
- ・笹ヶ瀬右岸幹線の設計及び工事及び牟佐幹線の基本設計業務委託

○既に着手している地区の未普及対策推進事業

- ・撫川、妹尾、一宮、津高、今在家、桑野、東平島地区などの市街地における下水道整備

## 3 要求額

(1)歳出額 5,249,030 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 680,430 千円
- ・地方債 4,388,900 千円
- ・一般財源 179,700 千円

(前年度当初予算額 5,047,376 千円)

担当課名	下水道河川局下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1499

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 合併処理浄化槽設置補助金事業

## 1 事業の趣旨

健康で快適な暮らしや良好な水環境の保全を図るため、合併処理浄化槽と下水道等との役割分担による総合的な生活排水処理対策に取り組んでいます。

下水道計画区域外や当面整備予定がない区域で、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対して、申請に基づき補助金を交付しています。

また、既存住宅で汲取り便所・単独処理浄化槽から、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽に設置替えする場合には、補助金の上乗せを行うことにより、合併処理浄化槽の設置促進を図り、生活排水処理対策を加速させ、公共用水域の改善を進めていきます。

## 2 事業内容

○合併処理浄化槽の新設に対する補助

・国基準額(5人槽 332千円 など)による補助

○既存住宅での汲取り便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えに対する補助

・国基準に25%上乗せ(5人槽 415千円 など)による補助

## 3 要求額

(1)歳出額 431,606 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 156,523 千円

・一般財源 275,083 千円

(前年度当初予算額 434,707 千円)

担当課名	環境局環境保全課
担当者名	課長 槇尾 卓己
電 話	内線 3990
	直通 086-803-1294

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 し尿処理施設の整備・効率化

## 1 事業の趣旨

老朽化した処理施設について、現有施設を利用した改修を行います。また、公共下水道へ接続することにより、設備の小型化、効率化が図られ、維持管理費の節減となります。

## 2 事業内容

### (1) 内容

- ・前処理脱水機の設置工事及びプラント設備の更新工事
- ・上記工事についての監理業務委託

### (2) 期間

平成26年度～平成30年度

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,219,004 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 298,441 千円
- ・地方債 711,400 千円
- ・その他 117,899 千円
- ・一般財源 91,264 千円

(前年度当初予算額 925,118 千円)

担当課名	環境局環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携取組の推進

## 1 事業の趣旨

圏域住民の安全・安心な暮らしを持続的に支えるとともに、圏域外の方に「住んでみたい」と思われる、活力と魅力あふれる圏域づくりを目指し、平成29年3月に策定した「岡山連携中枢都市圏ビジョン」に掲げる具体的取組を連携市町とともに推進します。

## 2 事業内容

8市5町の首長で構成する岡山都市圏連携協議会及び外部有識者等で構成する岡山連携中枢都市圏ビジョン懇談会を引き続き開催し、ビジョンに掲げる連携施策・事務事業の着実な推進を図ります。

圏域を構成する市町の名称

岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町

## 3 要求額

(1)歳出額 2,398 千円

(2)財源内訳

・一般財源 2,398 千円

(前年度当初予算額 6,500 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	大都市・広域行政担当課長 安東 功夫
電 話	内線 3585
	直通 086-803-1043

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 瀬戸内4県都市の連携推進

## 1 事業の趣旨

瀬戸内4県の県都である岡山市、広島市、高松市及び松山市が「瀬戸内」というブランドイメージで一体的につながり、互いの長所を活かして相乗効果を発揮することにより、瀬戸内地域の活性化を図ります。

## 2 事業内容

岡山市、広島市、高松市及び松山市が連携して観光振興を中心に取り組むとともに、連携した取組について協議する場として、4市の市長による「瀬戸内4県都市長会議」を開催します。

- 開催日程 平成30年秋頃
- 開催場所 広島市

共同事業としては、近年、観光客数が増加傾向にある香港を対象とした招請ツアー一等を4市連携して実施します。

## 3 要求額

(1)歳出額 2,165 千円

(2)財源内訳

・一般財源 2,165 千円

(前年度当初予算額 2,100 千円)

担当課名	政策局政策企画課
担当者名	大都市・広域行政担当課長 安東 功夫
電 話	内線 3585
	直通 086-803-1043
担当課名	産業観光局観光コンベンション推進課
担当者名	課長 芳原 保
電 話	内線 4530
	直通 086-803-1332

# 平成30年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市民サービス拠点の整備

## 1 事業の趣旨

市民サービスの拠点となる区役所等の施設について、地域のまちづくりや防災の拠点として持続的なサービスが提供できるよう、市有施設等との複合化や建替えなどにより、効率・効果的な整備を進めます。

## 2 事業内容

- 市民サービス拠点整備事業  
旧耐震基準で建築された支所・地域センターの耐震診断を行います。
- 中区役所整備事業  
中区役所旧庁舎を含めた外構を平面駐車場として整備します。
- 福田地域センター整備事業  
福田地域センター旧庁舎を解体撤去し、駐車場として整備します。

## 3 要求額

(1)歳出額 130,399 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 6,945 千円
- ・地方債 80,700 千円
- ・一般財源 42,754 千円

(前年度当初予算額 249,771 千円)

担当課名	市民生活局区政推進課
担当者名	課長 石井 敏郎
電 話	内線 3750
	直通 086-803-1033